

ヨネツツこうちトイレ改修工事

図面目次

図面番号		縮尺	図面番号		縮尺
1	改修特記仕様書（1）		10	A配置トイレ改修平面詳細図	1/30
2	改修特記仕様書（2）		11	B配置トイレ改修平面詳細図	1/30
3	改修特記仕様書（3）		12	C配置トイレ改修平面詳細図	1/30
4	改修特記仕様書（4）		13	D配置トイレ改修平面詳細図	1/30
5	改修特記仕様書（5）		14	E配置トイレ改修平面詳細図	1/30
6	付近見取図 配置図 施工条件		15	F．G．H4配置トイレ改修平面詳細図	1/30
7	既存・1階平面図	1/200	16	H1．H2-1．H2-2．H3配置トイレ改修図	1/30
8	既存・2階平面図	1/200	17	改修後・建具表（トイレブース）1	1/50
9	仕上げ表		18	改修後・建具表（トイレブース）2	1/50

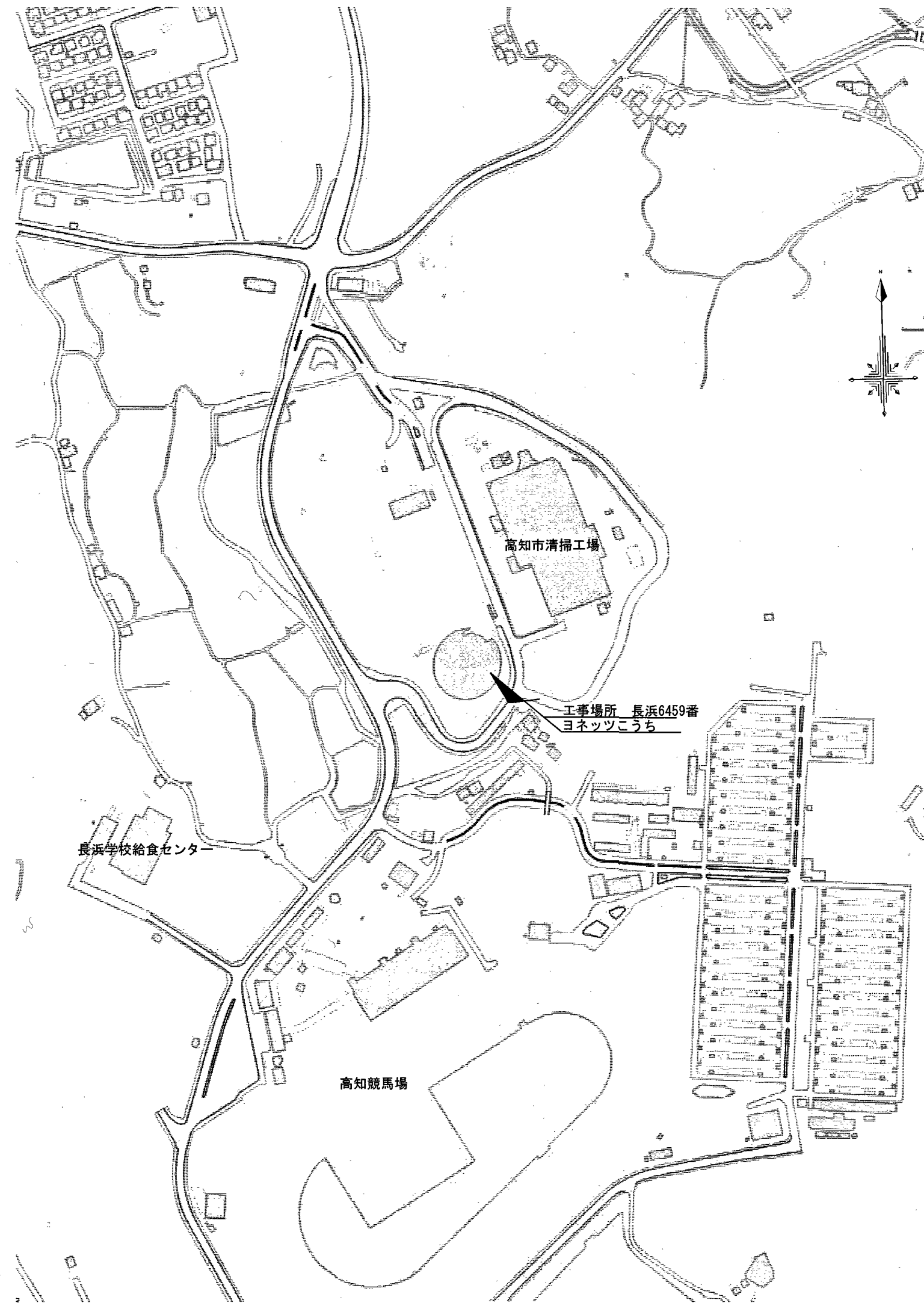
26 特別な材料の工法
27 風圧力
28 仕上面の出隅処理
29 事業損失補償
30 完成時の提出図書
31 完成写真
32 別途設備工事との取合い
33 撤去部分
34 不当要求等への対応
35 消防計画
36 工事特性等
仮設工事（改修）
1 足場その他
2 養生

項 目		特 記 事 項		項 目		特 記 事 項		項 目		特 記 事 項		
14	自閉式上吊り引戸装置	性能 ※表5.10.1による 製造所 評価名簿による	[5.10.3]	4	木部表面仕上げ	見え掛り面 ※ブレーナー加工仕上げ程度 ・超自動機械かな ・サンダー等	[6.5.1]					
15	重量シャッター	シャッターの種類 ・管理用シャッター ・外壁用防火シャッター ・屋内用防火シャッター ・防煙シャッター 開閉方式の種類 ※電動式(手動併用) ・手動式 急降下制動装置、急降下停止装置の設置箇所 ※図示 障害物感知装置の設置箇所 ※図示 危害防止機構の設置箇所 ※図示 管理用シャッターのシャッターケース ・設ける スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ・JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) ・JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 ※Z12又はF12を満足するもの ステンレス鋼板の種類 ※SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 製造所 評価名簿による	耐風圧強度(N/m2) 耐風圧強度(N/m2) [5.11.2] [5.11.2][表5.11.1] [5.11.2] [5.11.3] [5.6.3][5.11.3]	5	ホルムアルデヒド放散量	※6.5.2(9)のいずれかによる。	[6.5.2]					
16	軽量シャッター	開閉形式 ・電動式(手動併用) ・手動式 耐風圧強度(N/m2) 電動式シャッターの安全装置 障害物感知装置の設置箇所 ※図示 急降下停止装置 ・設置する ・設置しない スラットの材質の種類 ・JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 ※Z06又はF06を満足するもの ・JIS G 3322(塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 ※AZ90を満足するもの スラットの種類 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 製造所 評価名簿による	[5.12.2][表5.12.1] [5.12.2] [5.12.2] [5.12.3] [5.12.4]	6	目視検査	日本農林規格以外の製材及び集成材について、目視による材の欠点がないことの確認は、樹種ごとに無作為に抽出し、その抽出割合は10%以上とする。	[6.5.2]					
17	オーバーヘッドドア	セクション材料による区分 ※ スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラストタイプ 開閉方式による区分 ※ バランス式 ・チェーン式 ・電動式 収納形式による区分 ・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイルフト形 ・パーチャル形 ガイドレールの材料 ※ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板 耐風圧性能区分 ・50 ・75 ・100 ・125 電動式に設ける障害物感知装置の設置箇所 ※図示 製造所 評価名簿による	[5.13.2][5.13.3]	7	製材	・下地用針葉樹製材 施工箇所 ※図示 樹種 ・杉 ・桧 寸法(mm) ※図示 等級 JAS 1083-5に基づく場合 JAS 1083-5以外の場合 含水率 ※15%以下 ・20%以下 保存処理 ・行う ・行わない 防虫処理 ・行う ・行わない 難燃処理 ・行う ・行わない ・造作用針葉樹製材 施工箇所 ※図示 樹種 ・杉 ・桧 寸法(mm) ※図示 等級 JAS 1083-2に基づく場合 JAS 1083-2以外を使用する場合 含水率 ※15%以下 ・18%以下 保存処理 ・ 防虫処理 ・行う ・行わない 難燃処理 ・行う ・行わない ・広葉樹製材 施工箇所 ※図示 樹種 ・ 寸法(mm) ※図示 等級 JAS 1083-6に基づく場合 JAS 1083-6以外を使用する場合 含水率 ※10%以下 保存処理 ・ 防虫処理 ・行う ・行わない 難燃処理 ・行う ・行わない	[6.5.2]					
18	ガラス	ガラスの種類、厚さ等 ・熱線吸収板ガラス(グリーン) ※ その他のガラス ガラス溝の大きさ ※製造所の仕様による ガラス端部で枠にのみ込まない部分の小口加工 種類 建具の種類 アルミニウム製 樹脂製 鋼製及び鋼製軽量 ステンレス製 木製 シーリング材 ガラスブロック材料 表面形状 壁用金属枠及び補強材 力骨 材 質 ※ ステンレス鋼(SUS304) シーリング材の種類 金属製化粧カバー 工法 ・建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 目地幅の寸法 伸縮調整目地の位置	[5.14.2] [5.14.3] [5.14.4] [5.14.2] [表3.7.1] [5.14.5] [5.14.5] [5.14.5] [5.14.5] [5.14.5]	8	造作用集成材	・JAS 1152(集成材)に基づく造作用集成材 施工箇所 品名 樹種 寸法(mm) 見付け材面数 見付け材面の品質 寸法(mm) ※図示 ※1等 ・2等 等級 JAS 1083-6に基づく場合 JAS 1083-6以外を使用する場合 含水率 ※10%以下 保存処理 ・ 防虫処理 ・行う ・行わない 難燃処理 ・行う ・行わない ・JAS 1152(集成材)に基づく化粧ばり造作用集成材 施工箇所 品名 樹種 化粧薄板の厚さ(mm) 寸法(mm) 見付け材面数 見付け材面の品質 化粧薄板: 芯材: 化粧薄板: 芯材: ・JAS 1152(集成材)に基づく造作用集成材等以外の造作用集成材 施工箇所 樹種 寸法(mm) 見付け材面の品質 含水率 ※図示 ※15%以下 ・JAS 1152(集成材)に基づく化粧ばり造作用集成材等以外の化粧ばり造作用集成材 施工箇所 樹種 化粧薄板の厚さ(mm) 寸法(mm) 見付け材面の品質 含水率 化粧薄板: 芯材: 化粧薄板: 芯材: ・JAS 0701(単板積層材)に規定する造作用単板積層材 施工箇所 品名 厚さ(mm) 表面の化粧加工 防虫処理 ・有(・天然木化粧加工 ・塗装加工) ・行う ・図示 ・無(等級: ・1等 ・2等 ・3等) ・行わない ・JAS 3079(直交集成板)に基づくCLT(直交集成板) 施工箇所 品名 曲げ強度(強度等級) 種別 接着性能(使用環境) 樹種 寸法(mm) ※図示 下地用合板 ・JAS 0233(合板)に規定する普通合板 施工箇所 品名 厚さ(mm) 単板の樹種名 接着の程度 板面の品質 防虫処理 難燃処理 防火処理 ※5.5 ・ラワン ※1類 広葉樹(※2等以上) ・ ・ ・しな ・2類 針葉樹(※C-D以上) ・	[6.5.2]					
19	ガラス留め材	建具の種類 アルミニウム製 樹脂製 鋼製及び鋼製軽量 ステンレス製 木製 シーリング材 ガラスブロック材料 表面形状 壁用金属枠及び補強材 力骨 材 質 ※ ステンレス鋼(SUS304) シーリング材の種類 金属製化粧カバー 工法 ・建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 目地幅の寸法 伸縮調整目地の位置	[5.14.2] [表3.7.1] [5.14.5] [5.14.5] [5.14.5] [5.14.5]	9	造作用単板積層材	・JAS 0701(単板積層材)に規定する造作用単板積層材 施工箇所 品名 厚さ(mm) 表面の化粧加工 防虫処理 ・有(・天然木化粧加工 ・塗装加工) ・行う ・図示 ・無(等級: ・1等 ・2等 ・3等) ・行わない ・JAS 3079(直交集成板)に基づくCLT(直交集成板) 施工箇所 品名 曲げ強度(強度等級) 種別 接着性能(使用環境) 樹種 寸法(mm) ※図示 下地用合板 ・JAS 0233(合板)に規定する普通合板 施工箇所 品名 厚さ(mm) 単板の樹種名 接着の程度 板面の品質 防虫処理 難燃処理 防火処理 ※5.5 ・ラワン ※1類 広葉樹(※2等以上) ・ ・ ・しな ・2類 針葉樹(※C-D以上) ・	[6.5.2]					
20	ガラスブロック積み	建具の種類 アルミニウム製 樹脂製 鋼製及び鋼製軽量 ステンレス製 木製 シーリング材 ガラスブロック材料 表面形状 壁用金属枠及び補強材 力骨 材 質 ※ ステンレス鋼(SUS304) シーリング材の種類 金属製化粧カバー 工法 ・建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 目地幅の寸法 伸縮調整目地の位置	[5.14.2] [表3.7.1] [5.14.5] [5.14.5] [5.14.5] [5.14.5]	10	直交集成板	・JAS 3079(直交集成板)に基づくCLT(直交集成板) 施工箇所 品名 曲げ強度(強度等級) 種別 接着性能(使用環境) 樹種 寸法(mm) ※図示 下地用合板 ・JAS 0233(合板)に規定する普通合板 施工箇所 品名 厚さ(mm) 単板の樹種名 接着の程度 板面の品質 防虫処理 難燃処理 防火処理 ※5.5 ・ラワン ※1類 広葉樹(※2等以上) ・ ・ ・しな ・2類 針葉樹(※C-D以上) ・	[6.5.2]					
21	建築窓ガラス用フィルム	名称 ※ ガラス飛散防止フィルム 品質 JIS A 5759による	種類、記号 ※GI-1、GD-1 ・GI-2、GD-2	11	合板等	・JAS 0233(合板)に規定する普通合板 施工箇所 品名 厚さ(mm) 単板の樹種名 接着の程度 板面の品質 防虫処理 難燃処理 防火処理 ※5.5 ・ラワン ※1類 広葉樹(※2等以上) ・ ・ ・しな ・2類 針葉樹(※C-D以上) ・	[6.5.2]					
内装改修工事				12 接合具等				12 接合具等				
1	他の部位との取合い等	撤去壁と取り合う天井、壁及び床の改修範囲 天井内の撤去壁と取合う天井の改修範囲 撤去天井と取合う壁の改修範囲 各部仕上げは、既存仕上げに準じたものとする	※図示 ※図示 ※図示 ・壁厚程度 ・壁面から両側600程度 ・既存のまま	[6.1.3]	13 木れんが				13 木れんが			
2	既存床の撤去及び下地補修	・ビニル床シート等の除去等 ※仕上げ材のみ(接着剤等共) ・合成樹脂塗床材の除去等 ・機械的除去工法 ・目荒し工法 改修後の床の清掃範囲 ※改修部分の端部から1.0m程度の範囲(工事で汚した範囲共)	※図示 ※図示 ※図示 ・撤去範囲すべて) ・撤去範囲すべて) ・撤去範囲すべて) ・撤去範囲すべて)	[6.2.2]	14 防蟻・防蟻処理				14 防蟻・防蟻処理			
3	既存壁の撤去及び下地補修	間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修	※図示 ・モルタル塗り(4.3.10)による	[6.3.2]	15 不燃処理木材等				15 不燃処理木材等			
				16 間仕切軸組に用いる木材				16 間仕切軸組に用いる木材				
				17 床組に用いる木材				17 床組に用いる木材				
				18 窓、出入口、その他に用いる木材				18 窓、出入口、その他に用いる木材				
				19 縁甲板及び上がりがまに用いる木材				19 縁甲板及び上がりがまに用いる木材				
				20 壁及び天井に用いる木材				20 壁及び天井に用いる木材				
				21 軽量鉄骨天井下地				21 軽量鉄骨天井下地				
				22 野縁等の種類				22 野縁等の種類				
				23 野縁等の間隔				23 野縁等の間隔				
				24 新規天井下地のつりボルト受け等のインサート及びあと施工アンカー				24 新規天井下地のつりボルト受け等のインサート及びあと施工アンカー				
				25 耐風圧性を考慮した補強				25 耐風圧性を考慮した補強				
				26 つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強				26 つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強				
				27 野縁等の種類				27 野縁等の種類				
				28 野縁等の間隔				28 野縁等の間隔				
				29 新規天井下地のつりボルト受け等のインサート及びあと施工アンカー				29 新規天井下地のつりボルト受け等のインサート及びあと施工アンカー				
				30 耐風圧性を考慮した補強				30 耐風圧性を考慮した補強				
				31 つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強				31 つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強				
				32 野縁等の種類				32 野縁等の種類				
				33 野縁等の間隔				33 野縁等の間隔				
				34 新規天井下地のつりボルト受け等のインサート及びあと施工アンカー				34 新規天井下地のつりボルト受け等のインサート及びあと施工アンカー				
				35 耐風圧性を考慮した補強				35 耐風圧性を考慮した補強				
				36 つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強				36 つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強				
				37 野縁等の種類				37 野縁等の種類				
				38 野縁等の間隔				38 野縁等の間隔				
				39 新規天井下地のつりボルト受け等のインサート及びあと施工アンカー				39 新規天井下地のつりボルト受け等のインサート及びあと施工アンカー				
				40 耐風圧性を考慮した補強				40 耐風圧性を考慮した補強				
				41 つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強				41 つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強				
				42 野縁等の種類				42 野縁等の種類				
				43 野縁等の間隔				43 野縁等の間隔				
				44 新規天井下地のつりボルト受け等のインサート及びあと施工アンカー				44 新規天井下地のつりボルト受け等のインサート及びあと施工アンカー				
				45 耐風圧性を考慮した補強				45 耐風圧性を考慮した補強				
				46 つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強				46 つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強				
				47 野縁等の種類				47 野縁等の種類				
				48 野縁等の間隔				48 野縁等の間隔				
				49 新規天井下地のつりボルト受け等のインサート及びあと施工アンカー				49 新規天井下地のつりボルト受け等のインサート及びあと施工アンカー				
				50 耐風圧性を考慮した補強				50 耐風圧性を考慮した補強				
				51 つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強				51 つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強				
				52 野縁等の種類				52 野縁等の種類				
				53 野縁等の間隔				53 野縁等の間隔				
				54 新規天井下地のつりボルト受け等のインサート及びあと施工アンカー				54 新規天井下地のつりボルト受け等のインサート及びあと施工アンカー				
				55 耐風圧性を考慮した補強				55 耐風圧性を考慮した補強				
				56 つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強				56 つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強				
				57 野縁等の種類				57 野縁等の種類				
				58 野縁等の間隔				58 野縁等の間隔				
				59 新規天井下地のつりボルト受け等のインサート及びあと施工アンカー				59 新規天井下地のつりボルト受け等のインサート及びあと施工アンカー				
				60 耐風圧性を考慮した補強				60 耐風圧性を考慮した補強				
				61 つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強				61 つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強				
				62 野縁等の種類				62 野縁等の種類				
				63 野縁等の間隔				63 野縁等の間隔				
				64 新規天井下地のつりボルト受け等のインサート及びあと施工アンカー				64 新規天井下地のつりボルト受け等のインサート及びあと施工アンカー				
				65 耐風圧性を考慮した補強				65 耐風圧性を考慮した補強				
				66 つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強				66 つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強				
				67 野縁等の種類				67 野縁等の種類				
				68 野縁等の間隔				68 野縁等の間隔				
				69 新規天井下地のつりボルト受け等のインサート及びあと施工アンカー				69 新規天井下地のつりボルト受け等のインサート及びあと施工アンカー				
				70 耐風圧性を考慮した補強				70 耐風圧性を考慮した補強				
				71 つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強				71 つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強				
				72 野縁等の種類				72 野縁等の種類				
				73 野縁等の間隔				73 野縁等の間隔				
				74 新規天井下地のつりボルト受け等のインサート及びあと施工アンカー				74 新規天井下地のつりボルト受け等のインサート及びあと施工アンカー				
				75 耐風圧性を考慮した補強				75 耐風圧性を考慮した補強				
				76 つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強				76 つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強				
				77 野縁等の種類				77 野縁等の種類				
				78 野縁等の間隔				78 野縁等の間隔				
				79 新規天井下地のつりボルト受け等のインサート及びあと施工アンカー				79 新規天井下地のつりボルト受け等のインサート及びあと施工アンカー				
				80 耐風圧性を考慮した補強				80 耐風圧性を考慮した補強				
				81 つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強				81 つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強				
				82 野縁等の種類				82 野縁等の種類				
				83 野縁等の間隔				83 野縁等の間隔				
				84 新規天井下地のつりボルト受け等のインサート及びあと施工アンカー				84 新規天井下地のつりボルト受け等のインサート及びあと施工アンカー				
				85 耐風圧性を考慮した補強				85 耐風圧性を考慮した補強				
				86 つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強				86 つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強				
				87 野縁等の種類				87 野縁等の種類				
				88 野縁等の間隔				88 野縁等の間隔				
				89 新規天井下地のつりボルト受け等のインサート及びあと施工アンカー				89 新規天井下地のつりボルト受け等のインサート及びあと施工アンカー				
				90 耐風圧性を考慮した補強				90 耐風圧性を考慮した補強				
				91 つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強				91 つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強				
				92 野縁等の種類				92 野縁等の種類				
				93 野縁等の間隔				93 野縁等の間隔				
				94 新規天井下地のつりボルト受け等のインサート及びあと施工アンカー				94 新規天井下地のつりボルト受け等のインサート及びあと施工アンカー				
				95 耐風圧性を考慮した補強				95 耐風圧性を考慮した補強				
				96 つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強				96 つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強				
				97 野縁等の種類				97 野縁等の種類				
				98 野縁等の間隔				98 野縁等の間隔				
				99 新規天井下地のつりボルト受け等のインサート及びあと施工アンカー				99 新規天井下地のつりボルト受け等のインサート及びあと施工アンカー				
				100 耐風圧性を考慮した補強				100 耐風圧性を考慮した補強				
				101 つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強				101 つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強				
				102 野縁等の種類				102 野縁等の種類				
				103 野縁等の間隔				103 野縁等の間隔				
				104 新規天井下地のつりボルト受け等のインサート及びあと施工アンカー				104 新規天井下地のつりボルト受け等のインサート及びあと施工アンカー				
				105 耐風圧性を考慮した補強				105 耐風圧性を考慮した補強				
				106 つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強				106 つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強				
				107 野縁等の種類				107 野縁等の種類				
				108 野縁等の間隔				108 野縁等の間隔				
				109 新規天井下地のつりボルト受け等のインサート及びあと施工アンカー				109 新規天井下地のつりボルト受け等のインサート及びあと施工アンカー				
				110 耐風圧性を考慮した補強				110 耐風圧性を考慮した補強				
				111 つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強				111 つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強				
				112 野縁等の種類				112 野縁等の種類				
				113 野縁等の間隔				113 野縁等の間隔				
				114 新規天井下地のつりボルト受け等のインサート及びあと施工アンカー				114 新規天井下地のつりボルト受け等のインサート及びあと施工アンカー				
				115 耐風圧性を考慮した補強				115 耐風圧性を考慮した補強				
				116 つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強				116 つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強				
				117 野縁等の種類				117 野縁等の種類				
				118 野縁等の間隔				118 野縁等の間隔				
				119 新規天井下地のつりボルト受け等のインサート及びあと施工アンカー				119 新規天井下地のつりボルト受け等のインサート及びあと施工アンカー				
				120 耐風圧性を考慮した補強				120 耐風圧性を考慮した補強				
				121 つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強				121 つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強				
				122 野縁等の種類				122 野縁等の種類				
				123 野縁等の間隔				123 野縁等の間隔				
				124 新規天井下地のつりボルト受け等のインサート及びあと施工アンカー				124 新規天井下地のつりボルト受け等のインサート及びあと施工アンカー				
				125 耐風圧性を考慮した補強				125 耐風圧性を考慮した補強				
				126 つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強				126 つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強				
				127 野縁等の種類				127 野縁等の種類				
				128 野縁等の間隔				128 野縁等の間隔				
				129 新規天井下地のつりボルト受け等のインサート及びあと施工アンカー				129 新規天井下地のつりボルト受け等のインサート及びあと施工アンカー				
				130 耐風圧性を考慮した補強				130 耐風圧性を考慮した補強				
				131 つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強				131 つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強				
				132 野縁等の種類				132 野縁等の種類				
				133 野縁等の間隔				133 野縁等の間隔				
				134 新規天井下地のつりボルト受け等のインサート及びあと施工アンカー				134 新規天井下地のつりボルト受け等のインサート及びあと施工アンカー				
				135 耐風圧性を考慮した補強				135 耐風圧性を考慮した補強				
				136 つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強				136 つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強				
				137 野縁等の種類				137 野縁等の種類				
				138 野縁等の間隔				138 野縁等の間隔				
				139 新規天井下地のつりボルト受け等のインサート及びあと施工アンカー				139 新規天井下地のつりボルト受け等のインサート及びあと施工アンカー				
				140 耐風圧性を考慮した補強				140 耐風圧性を考慮した補強				
				141 つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強				141 つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強				
				142 野縁等の種類				142 野縁等の種類				
				143 野縁等の間隔				143 野縁等の間隔				
				144 新規天井下地のつりボルト受け等のインサート及びあと施工アンカー				144 新規天井下地のつりボルト受け等のインサート及びあと施工アンカー				
				145 耐風圧性を考慮した補強				145 耐風圧性を考慮した補強				
				146 つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強				146 つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強				
				147 野縁等の種類				147 野縁等の種類				
				148 野縁等の間隔				148 野縁等の間隔				
				149 新規天井下地のつりボルト受け等のインサート及びあと施工アンカー				149 新規天井下地のつりボルト受け等のインサート及びあと施工アンカー				
				150 耐風圧性を考慮した補強				150 耐風圧性を考慮した補強				
				151 つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強				151 つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強				
				152 野縁等の種類				152 野縁等の種類				
				153 野縁等の間隔				153 野縁等の間隔				
				154 新規天井下地のつりボルト受け等のインサート及びあと施工アンカー				154 新規天井下地のつりボルト受け等のインサート及びあと施工アンカー				
				155 耐風圧性を考慮した補強				155 耐風圧性を考慮した補強				
				156 つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強				156 つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強				
				157 野縁等の種類				157 野縁等の種類				
				158 野縁等の間隔				158 野縁等の間隔				
				159 新規天井下地のつりボルト受け等のインサート及びあと施工アンカー				159 新規天井下地のつりボルト受け等のインサート及びあと施工アンカー				
				160 耐風圧性を考慮した補強				160 耐風圧性を考慮した補強				
				161 つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強				161 つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強				
				162 野縁等の種類				162 野縁等の種類				
				163 野縁等の間隔				163 野縁等の間隔				
				164 新規天井下地のつりボルト受け等のインサート及びあと施工アンカー				164 新規天井下地のつりボルト受け等のインサート及びあと施工アンカー				
				165 耐風圧性を考慮した補強				165 耐風圧性を考慮した補強				
				166 つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強				166 つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強				
				167 野縁等の								

Project specification form for a toilet renovation. It includes sections for floor construction (22-24), wall construction (25-28), ceiling construction (29-30), and finishing work (31-34). Each section contains detailed material specifications, dimensions, and construction methods. The form is organized into columns for item number, item name, and specific details. The bottom section includes a company header for 'DIY Design Workshop', project location 'Takamori City, Takamori Ward, Takamori-cho 9-1-5', and a list of construction items including toilet renovation and floor finishing.

項 目		特 記 事 項		項 目		特 記 事 項																																																																																																																																							
⑤ 塗装の種別		<table><tr><td rowspan="4">屋内 (EP-G)</td><td>塗替え</td><td>・ As 種 ※Bs 種</td><td>※C 種</td></tr><tr><td>新規見え掛り部分</td><td>・ As 種</td><td>※A 種 ・ B 種</td></tr><tr><td>新規見え隠れ部分</td><td></td><td>・ A 種 ※B 種</td></tr><tr><td>塗替え</td><td>※As 種</td><td>※C 種</td></tr><tr><td rowspan="2">閉止め塗装のまま</td><td>新規見え掛り部分</td><td>※As 種</td><td>※A 種 ・ B 種</td></tr><tr><td>新規見え隠れ部分</td><td></td><td>・ A 種 ※B 種</td></tr><tr><td rowspan="3">亜鉛めっき鋼面 SOP</td><td>塗替え</td><td>・ Az 種 ※Bz 種</td><td>※C 種</td></tr><tr><td>鋼製建具</td><td>※Az 種 ・ Bz 種</td><td>※A 種 ・ B 種</td></tr><tr><td>鋼製建具以外</td><td>・ Az 種 ※Bz 種</td><td>・ A 種 ※B 種</td></tr><tr><td rowspan="3">DP</td><td>塗替え</td><td>※Bz 種</td><td>[表7.4.6]</td></tr><tr><td>鋼製建具</td><td>※Bz 種</td><td>[表7.4.6]</td></tr><tr><td>鋼製建具以外</td><td>※Bz 種</td><td>[表7.4.6]</td></tr><tr><td rowspan="3">屋内 (EP-G)</td><td>塗替え</td><td>※Cz 種</td><td>※C 種</td></tr><tr><td>鋼製建具</td><td>※Cz 種</td><td>※A 種 ・ B 種</td></tr><tr><td>鋼製建具以外</td><td>※Cz 種</td><td>・ A 種 ※B 種</td></tr></table>	屋内 (EP-G)	塗替え	・ As 種 ※Bs 種	※C 種	新規見え掛り部分	・ As 種	※A 種 ・ B 種	新規見え隠れ部分		・ A 種 ※B 種	塗替え	※As 種	※C 種	閉止め塗装のまま	新規見え掛り部分	※As 種	※A 種 ・ B 種	新規見え隠れ部分		・ A 種 ※B 種	亜鉛めっき鋼面 SOP	塗替え	・ Az 種 ※Bz 種	※C 種	鋼製建具	※Az 種 ・ Bz 種	※A 種 ・ B 種	鋼製建具以外	・ Az 種 ※Bz 種	・ A 種 ※B 種	DP	塗替え	※Bz 種	[表7.4.6]	鋼製建具	※Bz 種	[表7.4.6]	鋼製建具以外	※Bz 種	[表7.4.6]	屋内 (EP-G)	塗替え	※Cz 種	※C 種	鋼製建具	※Cz 種	※A 種 ・ B 種	鋼製建具以外	※Cz 種	・ A 種 ※B 種		<table><tr><td>6</td><td>階段滑り止め</td><td>材種 ※ステンレス製 (SUS304) タイヤ入り 幅 (mm) ※約35 工法 ※接着工法 ・ 埋込み工法</td><td>(20.2.7)</td></tr><tr><td>7</td><td>黒板及びホワイトボード</td><td>・ 黒板 区分 ※焼付け 種類 ・ 鋼製 ・ ほうろう 形式 ・ 曲面 ・ 平面 ・ ホワイトボード 種類 ※ ほうろう 形式 ・ 曲面 ・ 平面 ※上げ下げ式 ・ 固定式</td><td>(20.2.9)</td></tr><tr><td>8</td><td>鏡</td><td>厚さ (mm) ※5.0 ※耐食仕様</td><td>(20.2.10)</td></tr><tr><td>9</td><td>表示</td><td>室名札等 区 分 材質・厚さ (mm) 印刷等の種別 色 彩 取付形式 書 体 ・ 室名札 ※図示 ・ ピクトグラフ ※図示 ・ とびら番号 ※図示 ・ 非常用進入口 (※5.0) ・ 図示 ・ 建物案内板 ※図示 ・ 各階案内板 (※8.0) ・ 図示 ・ 対人衝突防止表示 ※図示</td><td>(20.2.11)</td></tr><tr><td>10</td><td>タラップ</td><td>材料の種類 ・ ステンレス 仕上げ</td><td>(20.2.12)</td></tr><tr><td>11</td><td>煙突ライニング</td><td>煙突用成形ライニング材製造所 評価名簿による 適用安全使用温度 (上限温度) ・ 400℃ ・ 600℃ ・ 図示 (下限温度) ・ 図示</td><td>(20.2.13)</td></tr><tr><td>12</td><td>ブラインド</td><td>形式 ※横形ブラインド スラットの材種 ※アルミニウム合金製 開閉方式 ※ギヤ式 ・ コード式 ・ 電動式 スラットの成形幅 (mm) ※25 ・ 80 ・ 100 ヘッドボックスの材種 ※鋼製 ボトムレールの材種 ※鋼製</td><td>(20.2.14)</td></tr><tr><td>13</td><td>ロールスクリーン</td><td>操作方式 スクリーンの材種 品質 備考 ・ スプリング式 ・ ガラス繊維製 ・ 布製 円 / m2 程度 ・ チェーン式 ・ 電動式 ・ 木製 巻取りパイプその他の材料 ※ 製造所の仕様による</td><td>(20.2.15)</td></tr><tr><td>14</td><td>カーテン</td><td>形 式 開閉操作方式 ひだの種類 生地 の品質等 ・ シングル ・ 片引き ・ 手引き ・ プレーンひだ ・ 片ひだ ・ ダブル ・ 引分け ・ ひも引き ・ 箱ひだ ・ つまみひだ ・ 電動 ・ フランスひだ ・ シェーリング 暗幕用カーテンの上部及び召合せの重なり ※ 300mm 以上</td><td>(20.2.16) (表20.2.1)</td></tr><tr><td>15</td><td>カーテンレール</td><td>レール及び付属金物 強さの区分 材 料 仕 上 げ 形 状 付属金物 ・ 10-60 ※アルミニウム製 ※アルマイト ※角形 ※10-90 ・ ステンレス製</td><td>(20.2.16)</td></tr><tr><td>16</td><td>天井見切縁</td><td>材種 ・ アルミニウム製 ※ 塩ビ 形状 ・ 突付け型 ・ 目隠し型</td><td></td></tr><tr><td>17</td><td>コーナービート</td><td>材種 ※ステンレス ・ アルミニウム合金</td><td></td></tr><tr><td>⑬</td><td>点検口</td><td>形式 材 種 寸 法 形 式 鍵 天井 ※アルミニウム製 ※450×450 ・ 600×600 ・ 一般形 ・ 額縁タイプ ・ 額縁タイプ ・ 目地タイプ ・ 目地タイプ ・ 密閉形 床 ・ アルミニウム製 ・ 450×450 ※ステンレス製 ※600×600 ・ 一般形 ・ 密閉形 ・ なし ・ 結露防止形 ※あり ・ 屋内外用 ・ 屋内用</td><td></td></tr><tr><td>19</td><td>ステンレス流し台</td><td>※図示 (公表価格 円程度) ・ 優良住宅部品</td><td></td></tr><tr><td>20</td><td>コンロ台</td><td>※図示 (公表価格 円程度) ・ 優良住宅部品</td><td></td></tr><tr><td>21</td><td>吊戸棚</td><td>※図示 (公表価格 円程度) ・ 優良住宅部品</td><td></td></tr><tr><td>22</td><td>水切り棚</td><td>※図示 (公表価格 円程度) ・ 優良住宅部品</td><td></td></tr><tr><td>23</td><td>くつふきマット</td><td>材種 ・ ステンレス鋼 (SUS304) (受わく ステンレス鋼 (SUS304)) ・ 硬質アルミニウム合金 (受わく 硬質アルミニウム合金)</td><td></td></tr><tr><td>24</td><td>収納家具等の材料</td><td>合板類、MDF及びパーティクルボード、収納家具等製作に伴い使用する接着剤のホルムアルデヒド放出量 ※F☆☆☆☆、またはそれと同等と認められるもの</td><td></td></tr><tr><td>25</td><td>フェンス</td><td>フェンスの種類 ・ 樹脂塗装メッシュフェンス ・ ビニル被覆エキスパンドフェンス ・ 樹脂塗装目かくしフェンス ・ 格子フェンス ・ 亜鉛メッキネットフェンス ・ アルミフェンス 高さ ※図示 メッシュ間隔 ・ 40mm 程度 ・ 50mm 程度</td><td></td></tr><tr><td>26</td><td>車止め支柱</td><td>形 式 材 質 柱径・肉厚 (mm) 高さ (mm) ※上下式・額内蔵式 ※ステンレス製 ※φ76.3 t=2.0 ※ GL+850 (※標準品・スプリング付) ・</td><td></td></tr></table>	6	階段滑り止め	材種 ※ステンレス製 (SUS304) タイヤ入り 幅 (mm) ※約35 工法 ※接着工法 ・ 埋込み工法	(20.2.7)	7	黒板及びホワイトボード	・ 黒板 区分 ※焼付け 種類 ・ 鋼製 ・ ほうろう 形式 ・ 曲面 ・ 平面 ・ ホワイトボード 種類 ※ ほうろう 形式 ・ 曲面 ・ 平面 ※上げ下げ式 ・ 固定式	(20.2.9)	8	鏡	厚さ (mm) ※5.0 ※耐食仕様	(20.2.10)	9	表示	室名札等 区 分 材質・厚さ (mm) 印刷等の種別 色 彩 取付形式 書 体 ・ 室名札 ※図示 ・ ピクトグラフ ※図示 ・ とびら番号 ※図示 ・ 非常用進入口 (※5.0) ・ 図示 ・ 建物案内板 ※図示 ・ 各階案内板 (※8.0) ・ 図示 ・ 対人衝突防止表示 ※図示	(20.2.11)	10	タラップ	材料の種類 ・ ステンレス 仕上げ	(20.2.12)	11	煙突ライニング	煙突用成形ライニング材製造所 評価名簿による 適用安全使用温度 (上限温度) ・ 400℃ ・ 600℃ ・ 図示 (下限温度) ・ 図示	(20.2.13)	12	ブラインド	形式 ※横形ブラインド スラットの材種 ※アルミニウム合金製 開閉方式 ※ギヤ式 ・ コード式 ・ 電動式 スラットの成形幅 (mm) ※25 ・ 80 ・ 100 ヘッドボックスの材種 ※鋼製 ボトムレールの材種 ※鋼製	(20.2.14)	13	ロールスクリーン	操作方式 スクリーンの材種 品質 備考 ・ スプリング式 ・ ガラス繊維製 ・ 布製 円 / m2 程度 ・ チェーン式 ・ 電動式 ・ 木製 巻取りパイプその他の材料 ※ 製造所の仕様による	(20.2.15)	14	カーテン	形 式 開閉操作方式 ひだの種類 生地 の品質等 ・ シングル ・ 片引き ・ 手引き ・ プレーンひだ ・ 片ひだ ・ ダブル ・ 引分け ・ ひも引き ・ 箱ひだ ・ つまみひだ ・ 電動 ・ フランスひだ ・ シェーリング 暗幕用カーテンの上部及び召合せの重なり ※ 300mm 以上	(20.2.16) (表20.2.1)	15	カーテンレール	レール及び付属金物 強さの区分 材 料 仕 上 げ 形 状 付属金物 ・ 10-60 ※アルミニウム製 ※アルマイト ※角形 ※10-90 ・ ステンレス製	(20.2.16)	16	天井見切縁	材種 ・ アルミニウム製 ※ 塩ビ 形状 ・ 突付け型 ・ 目隠し型		17	コーナービート	材種 ※ステンレス ・ アルミニウム合金		⑬	点検口	形式 材 種 寸 法 形 式 鍵 天井 ※アルミニウム製 ※450×450 ・ 600×600 ・ 一般形 ・ 額縁タイプ ・ 額縁タイプ ・ 目地タイプ ・ 目地タイプ ・ 密閉形 床 ・ アルミニウム製 ・ 450×450 ※ステンレス製 ※600×600 ・ 一般形 ・ 密閉形 ・ なし ・ 結露防止形 ※あり ・ 屋内外用 ・ 屋内用		19	ステンレス流し台	※図示 (公表価格 円程度) ・ 優良住宅部品		20	コンロ台	※図示 (公表価格 円程度) ・ 優良住宅部品		21	吊戸棚	※図示 (公表価格 円程度) ・ 優良住宅部品		22	水切り棚	※図示 (公表価格 円程度) ・ 優良住宅部品		23	くつふきマット	材種 ・ ステンレス鋼 (SUS304) (受わく ステンレス鋼 (SUS304)) ・ 硬質アルミニウム合金 (受わく 硬質アルミニウム合金)		24	収納家具等の材料	合板類、MDF及びパーティクルボード、収納家具等製作に伴い使用する接着剤のホルムアルデヒド放出量 ※F☆☆☆☆、またはそれと同等と認められるもの		25	フェンス	フェンスの種類 ・ 樹脂塗装メッシュフェンス ・ ビニル被覆エキスパンドフェンス ・ 樹脂塗装目かくしフェンス ・ 格子フェンス ・ 亜鉛メッキネットフェンス ・ アルミフェンス 高さ ※図示 メッシュ間隔 ・ 40mm 程度 ・ 50mm 程度		26	車止め支柱	形 式 材 質 柱径・肉厚 (mm) 高さ (mm) ※上下式・額内蔵式 ※ステンレス製 ※φ76.3 t=2.0 ※ GL+850 (※標準品・スプリング付) ・		環境配慮改修工事	① 石綿含有建材の除去工事	石綿含有建材除去後の仕上げ工事 ※図示 石綿含有建材の有無及び除去等 [9.1.3]~[9.1.5] [9.1.3]による ※9.1.3による ※9.1.3による ※9.1.4(2)から(4)による ※9.1.5による 石綿含有吹付け材の飛散防止処置 ※湿潤化 ・ 固化 石綿含有保温材等の除去工法 ※粉じん飛散抑制剤等により湿潤化して手ばらし 石綿含有成形板等の除去における作業場周辺の養生 ・ 行う ・ 行わない ・ 石綿含有仕上塗材の除去 [9.1.6] 使用部位 () 使用材料 () 除去工法 ※厚生労働省「石綿飛散漏洩防止対策徹底マニュアル」による工法の内、飛散防止に関し隔離措置と同等と判断できる工法 除去範囲 ※図示 試験施工 ※行わない ・ 行う 処分 [9.1.3] 管理型・安定型を確認の上、廃棄物処理法による許可を受けた施設で適切に処理すること。 石綿粉じん濃度測定 ※建築物石綿含有建材調査報告書により、監督職員と協議する。 ・ 行う ・ 行わない [9.1.1] 測定時期 測定場所 測定名称 測定点 処理作業前 ・ 処理作業室内 測定1 ※2点 ・ 3点 ・ 施工区画周辺又は敷地境界 測定2 ※2点 ・ 処理作業中 ・ 処理作業室内 測定3 ※2点 ・ ※セキュリティゾーン入口 測定4 ※1点 ・ ※集じん、排気装置の排出口 測定5 ※1点 ・ (処理作業室外の場合) ・ 施工区画周辺又は敷地境界 測定6 ※4方向 各1点 処理作業後 ※処理作業室内 測定7 ※2点以上 ・ (隔離シート撤去前) ・ 施工区画周辺又は敷地境界 測定8 ※4方向 各1点 測定方法 ・ JIS K3850-1に基づいた測定 (・測定4 ・測定5 ・測定6 ・測定7 ・) ・ 自動測定器による測定 (・測定4 ・測定5 ・)
	屋内 (EP-G)	塗替え		・ As 種 ※Bs 種	※C 種																																																																																																																																								
		新規見え掛り部分		・ As 種	※A 種 ・ B 種																																																																																																																																								
		新規見え隠れ部分			・ A 種 ※B 種																																																																																																																																								
		塗替え	※As 種	※C 種																																																																																																																																									
閉止め塗装のまま	新規見え掛り部分	※As 種	※A 種 ・ B 種																																																																																																																																										
	新規見え隠れ部分		・ A 種 ※B 種																																																																																																																																										
亜鉛めっき鋼面 SOP	塗替え	・ Az 種 ※Bz 種	※C 種																																																																																																																																										
	鋼製建具	※Az 種 ・ Bz 種	※A 種 ・ B 種																																																																																																																																										
	鋼製建具以外	・ Az 種 ※Bz 種	・ A 種 ※B 種																																																																																																																																										
DP	塗替え	※Bz 種	[表7.4.6]																																																																																																																																										
	鋼製建具	※Bz 種	[表7.4.6]																																																																																																																																										
	鋼製建具以外	※Bz 種	[表7.4.6]																																																																																																																																										
屋内 (EP-G)	塗替え	※Cz 種	※C 種																																																																																																																																										
	鋼製建具	※Cz 種	※A 種 ・ B 種																																																																																																																																										
	鋼製建具以外	※Cz 種	・ A 種 ※B 種																																																																																																																																										
6	階段滑り止め	材種 ※ステンレス製 (SUS304) タイヤ入り 幅 (mm) ※約35 工法 ※接着工法 ・ 埋込み工法	(20.2.7)																																																																																																																																										
7	黒板及びホワイトボード	・ 黒板 区分 ※焼付け 種類 ・ 鋼製 ・ ほうろう 形式 ・ 曲面 ・ 平面 ・ ホワイトボード 種類 ※ ほうろう 形式 ・ 曲面 ・ 平面 ※上げ下げ式 ・ 固定式	(20.2.9)																																																																																																																																										
8	鏡	厚さ (mm) ※5.0 ※耐食仕様	(20.2.10)																																																																																																																																										
9	表示	室名札等 区 分 材質・厚さ (mm) 印刷等の種別 色 彩 取付形式 書 体 ・ 室名札 ※図示 ・ ピクトグラフ ※図示 ・ とびら番号 ※図示 ・ 非常用進入口 (※5.0) ・ 図示 ・ 建物案内板 ※図示 ・ 各階案内板 (※8.0) ・ 図示 ・ 対人衝突防止表示 ※図示	(20.2.11)																																																																																																																																										
10	タラップ	材料の種類 ・ ステンレス 仕上げ	(20.2.12)																																																																																																																																										
11	煙突ライニング	煙突用成形ライニング材製造所 評価名簿による 適用安全使用温度 (上限温度) ・ 400℃ ・ 600℃ ・ 図示 (下限温度) ・ 図示	(20.2.13)																																																																																																																																										
12	ブラインド	形式 ※横形ブラインド スラットの材種 ※アルミニウム合金製 開閉方式 ※ギヤ式 ・ コード式 ・ 電動式 スラットの成形幅 (mm) ※25 ・ 80 ・ 100 ヘッドボックスの材種 ※鋼製 ボトムレールの材種 ※鋼製	(20.2.14)																																																																																																																																										
13	ロールスクリーン	操作方式 スクリーンの材種 品質 備考 ・ スプリング式 ・ ガラス繊維製 ・ 布製 円 / m2 程度 ・ チェーン式 ・ 電動式 ・ 木製 巻取りパイプその他の材料 ※ 製造所の仕様による	(20.2.15)																																																																																																																																										
14	カーテン	形 式 開閉操作方式 ひだの種類 生地 の品質等 ・ シングル ・ 片引き ・ 手引き ・ プレーンひだ ・ 片ひだ ・ ダブル ・ 引分け ・ ひも引き ・ 箱ひだ ・ つまみひだ ・ 電動 ・ フランスひだ ・ シェーリング 暗幕用カーテンの上部及び召合せの重なり ※ 300mm 以上	(20.2.16) (表20.2.1)																																																																																																																																										
15	カーテンレール	レール及び付属金物 強さの区分 材 料 仕 上 げ 形 状 付属金物 ・ 10-60 ※アルミニウム製 ※アルマイト ※角形 ※10-90 ・ ステンレス製	(20.2.16)																																																																																																																																										
16	天井見切縁	材種 ・ アルミニウム製 ※ 塩ビ 形状 ・ 突付け型 ・ 目隠し型																																																																																																																																											
17	コーナービート	材種 ※ステンレス ・ アルミニウム合金																																																																																																																																											
⑬	点検口	形式 材 種 寸 法 形 式 鍵 天井 ※アルミニウム製 ※450×450 ・ 600×600 ・ 一般形 ・ 額縁タイプ ・ 額縁タイプ ・ 目地タイプ ・ 目地タイプ ・ 密閉形 床 ・ アルミニウム製 ・ 450×450 ※ステンレス製 ※600×600 ・ 一般形 ・ 密閉形 ・ なし ・ 結露防止形 ※あり ・ 屋内外用 ・ 屋内用																																																																																																																																											
19	ステンレス流し台	※図示 (公表価格 円程度) ・ 優良住宅部品																																																																																																																																											
20	コンロ台	※図示 (公表価格 円程度) ・ 優良住宅部品																																																																																																																																											
21	吊戸棚	※図示 (公表価格 円程度) ・ 優良住宅部品																																																																																																																																											
22	水切り棚	※図示 (公表価格 円程度) ・ 優良住宅部品																																																																																																																																											
23	くつふきマット	材種 ・ ステンレス鋼 (SUS304) (受わく ステンレス鋼 (SUS304)) ・ 硬質アルミニウム合金 (受わく 硬質アルミニウム合金)																																																																																																																																											
24	収納家具等の材料	合板類、MDF及びパーティクルボード、収納家具等製作に伴い使用する接着剤のホルムアルデヒド放出量 ※F☆☆☆☆、またはそれと同等と認められるもの																																																																																																																																											
25	フェンス	フェンスの種類 ・ 樹脂塗装メッシュフェンス ・ ビニル被覆エキスパンドフェンス ・ 樹脂塗装目かくしフェンス ・ 格子フェンス ・ 亜鉛メッキネットフェンス ・ アルミフェンス 高さ ※図示 メッシュ間隔 ・ 40mm 程度 ・ 50mm 程度																																																																																																																																											
26	車止め支柱	形 式 材 質 柱径・肉厚 (mm) 高さ (mm) ※上下式・額内蔵式 ※ステンレス製 ※φ76.3 t=2.0 ※ GL+850 (※標準品・スプリング付) ・																																																																																																																																											
⑥ ユニット及びその他工事																																																																																																																																													
1	フリーアクセスフロア	材料等 (20.2.2) 施工箇所 工法 表面仕上げ材の材質 寸法 (mm) 高さ (mm) 所定荷重 (N) 耐震性能 ・ 支柱調整式 ※タイルカーペット ※500×500 ・ 置敷式 ・ 帯電防止ビニル床タイル 寸法精度 20.2.2(2)(4)による 製造所 評価名簿による (20.2.2)																																																																																																																																											
2	可動間仕切	JIS A 6512による他は次による (20.2.3) 構造形式 構成基材 (JIS記号) 表面仕上材 不燃認定 遮音性 (dB/500Hz) ・ パネル式 ・ A L ・ w p ・ 0.6 ※パズル樹脂塗料 ・ スタッド式 (内蔵) ・ S T ・ st gy ・ 0.8 ※又はアクリル樹脂 ・ スタッド式 (露出) ・ E ・ g pa 塗料焼き付け ・ スタッドパネル式 ・ al e ・ 図示 割付及びパネル内の建具 ※図示 製造所 評価名簿による (20.2.4) 走行方向による 操作方法による区分 パネル圧接 パネル厚 パネル表面材 遮音性 (dB/500Hz) ・ 平行方向 ※手動式 ・ プッシュ式 ・ 鋼板 ※ メラミン樹脂塗料 ・ 移動式 ・ 電動式 ・ ハンドル式 ・ 又はアクリル樹脂 ・ 二方向移動式 ・ 部分電動式 ・ 塗料焼き付け ハンガーレール取付け下地の補強 ※20.2.4(3)(4)による パネルをランナーに取り付ける部品 ※20.2.4(3)(4)による ハンガーレール ※20.2.4(3)(4)による ランナー ※20.2.4(3)(4)による ハンガーレール固定用あと施工アンカー 材質 () 寸法 () 製造所 評価名簿による (20.2.5) 既存トイレブース 文化シャッター PCシリーズ																																																																																																																																											
3	移動間仕切																																																																																																																																												
④	トイレブース																																																																																																																																												
5	手すり	材料の種類、仕上げ ・ ステンレス、#400 (20.2.6)																																																																																																																																											

合同会社 D I Y 設計工房	事務所登録 (知事)1234号	高知市 都市建設部 公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
〒781-314 高知市春野町南ヶ丘9丁目3-15			ヨネッツこうちトイレ改修工事	○	○	○	○	5
Tel. 088-841-3176 Fax 088-855-4196	一級建築士登録 146019 土居 歳幸		図面名</					



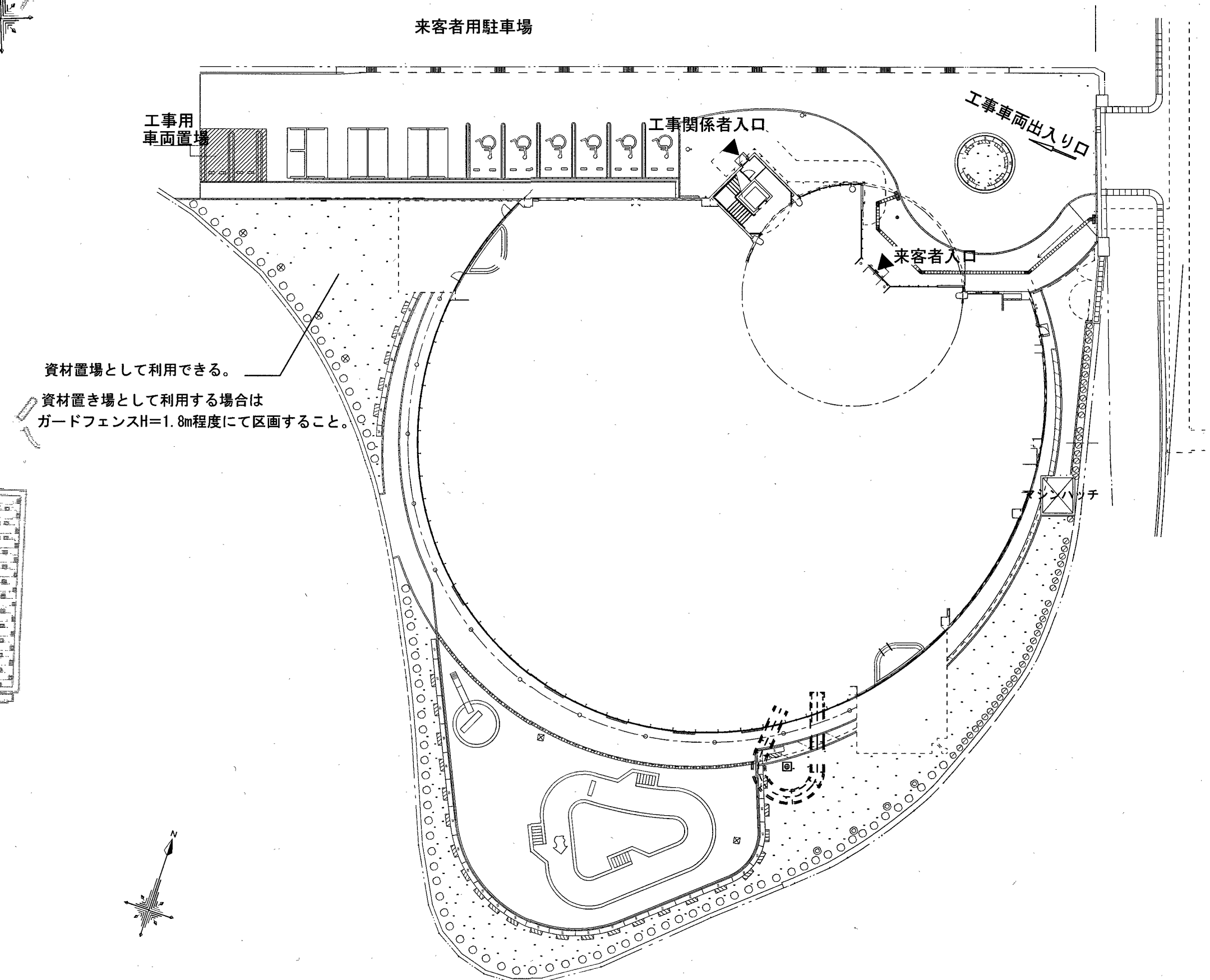
付 近 見 取 図

■施工条件・注意事項

休館日 年末年始、毎週火曜日（祝日の場合は営業、翌平日が休業）

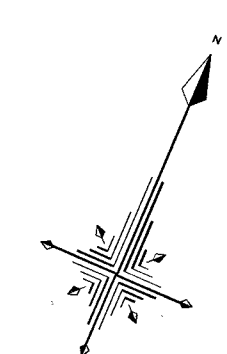
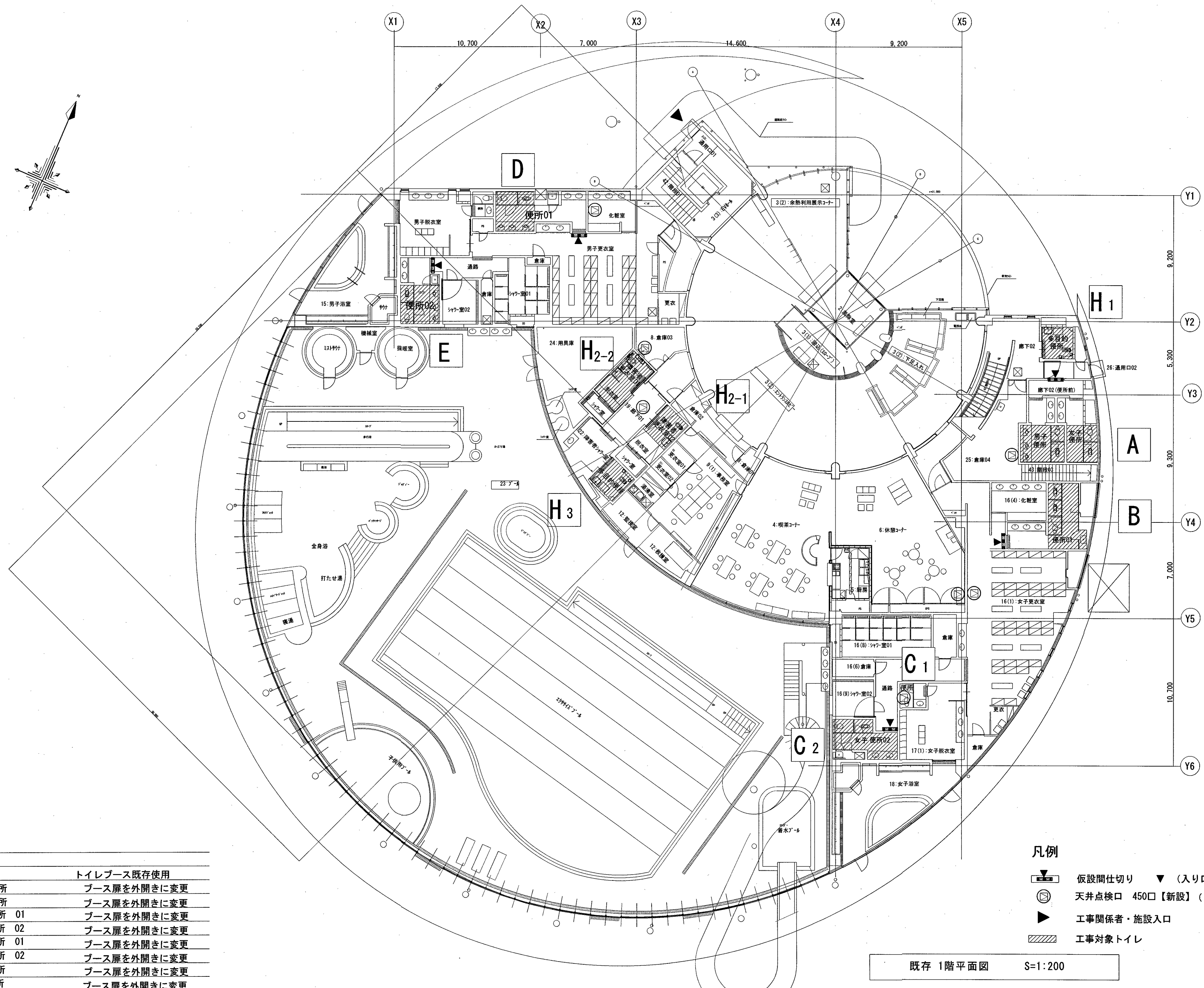
（施工可能） なお、営業時間等予定は変更となる場合がある為、事前に施設管理者に確認を行うこと。

- ① B. D. C1. の施工は火曜日（休館日）とする。
- ② C1は休館日以外は使用するため、工事施工の都度資機材を片付ける。
- ③ 施工中のトイレ以外の天井点検口の施工は、火曜日（休館日）とする。
- ④ A. H1. H2-2. H3. の工事施工中B. C2. D. E. H2-1. F. G. H4. は使用する。
- ⑤ C2. E. H2-1. F. G. H4. の工事施工中A. H1. H2-2. H3. は使用する。



配 置 図 S=1:300

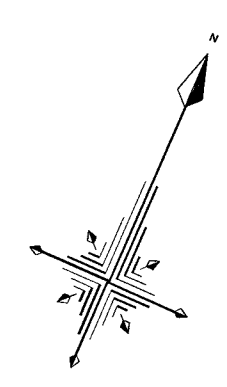
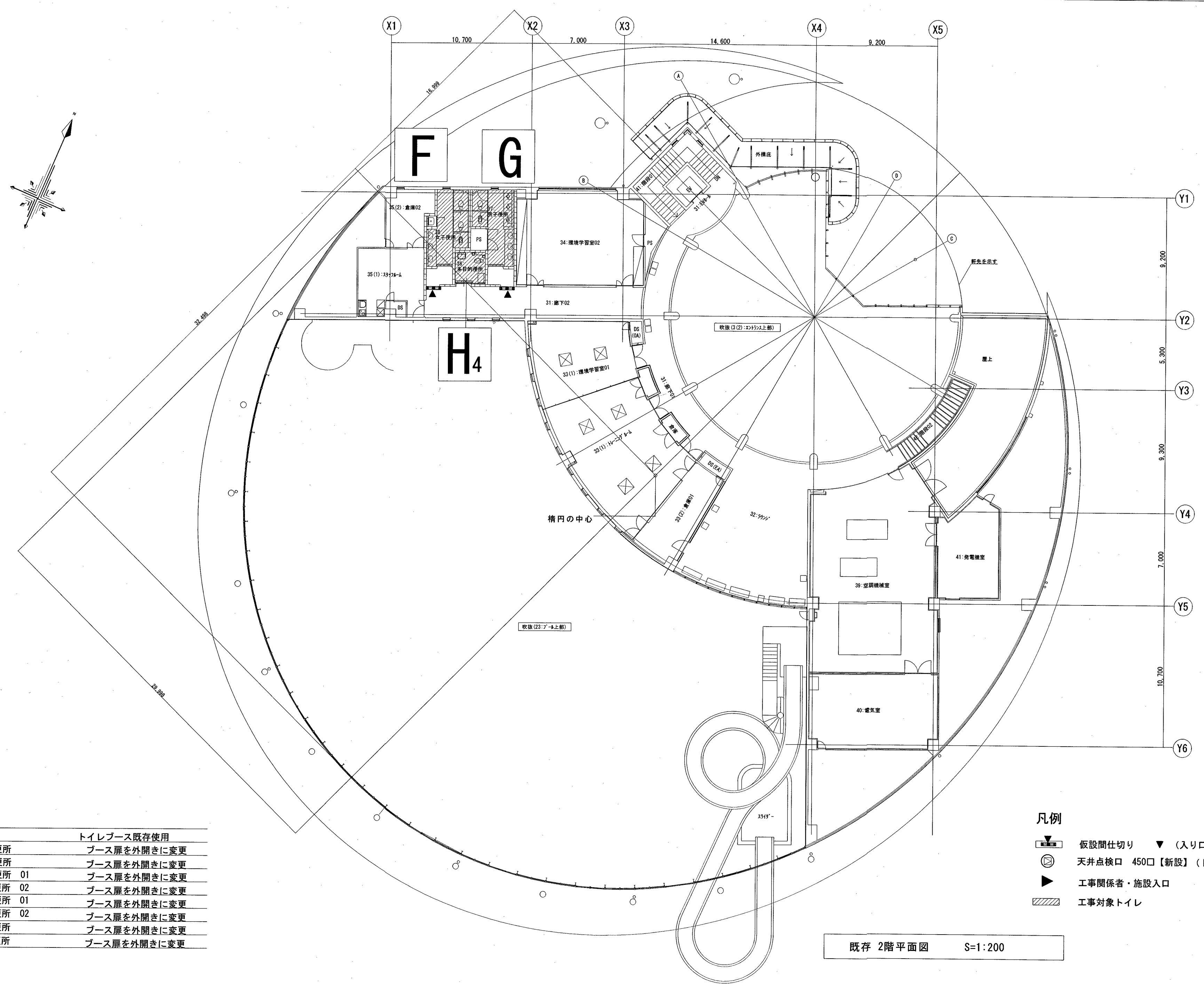
記 事	月 日	合同会社 D I Y 設計工房 〒781-314 高知市春野町南ヶ丘9丁目3-15 Tel. 088-841-3176 Fax. 088-855-4196	事務所登録(知事)1234号 一級建築士登録 146019 土居 歳幸	作成年月日	工事名称	高知市都市建設部公共建築課				設計番号
	月 日			縮尺	図面名称	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
	月 日				付近見取図 配置図 施工条件					6



工事内容		
トイレ仕様	トイレブース既存使用	
1. 1階 A 男子便所	ブース扉を外開きに変更	
2. 1階 A 女子便所	ブース扉を外開きに変更	
3. 1階 B 女子便所 01	ブース扉を外開きに変更	
4. 1階 C2 女子便所 02	ブース扉を外開きに変更	
5. 1階 D 男子便所 01	ブース扉を外開きに変更	
6. 1階 E 男子便所 02	ブース扉を外開きに変更	
7. 2階 F 女子便所	ブース扉を外開きに変更	
8. 2階 G 男子便所	ブース扉を外開きに変更	

- 凡例
- 仮設間仕切り
 - (入り口を示す)
 - 天井点検口 450□【新設】(トイレ内は図面番号11~17による)
 - 工事関係者・施設入口
 - 工事対象トイレ

既存 1階平面図 S=1:200



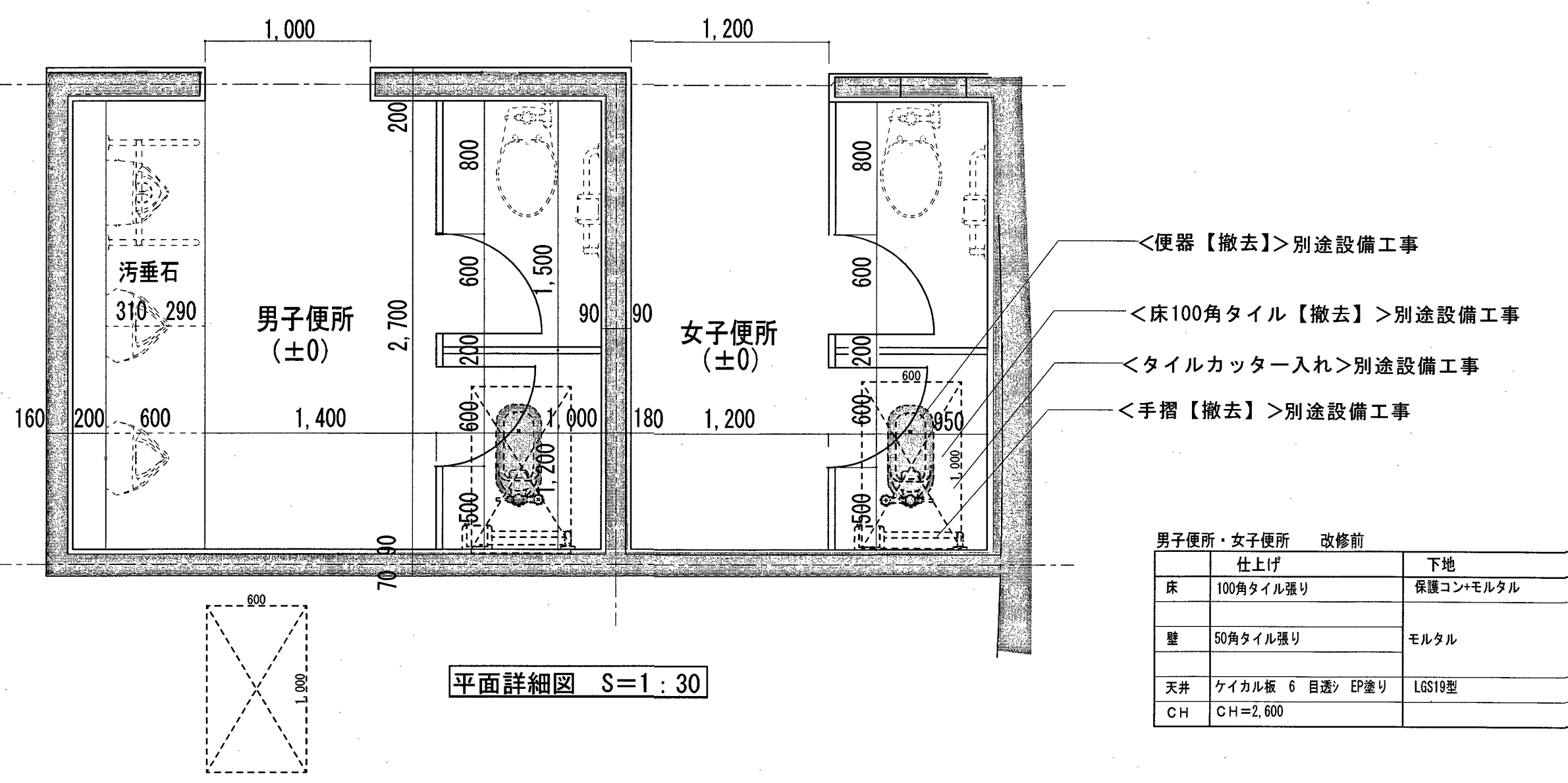
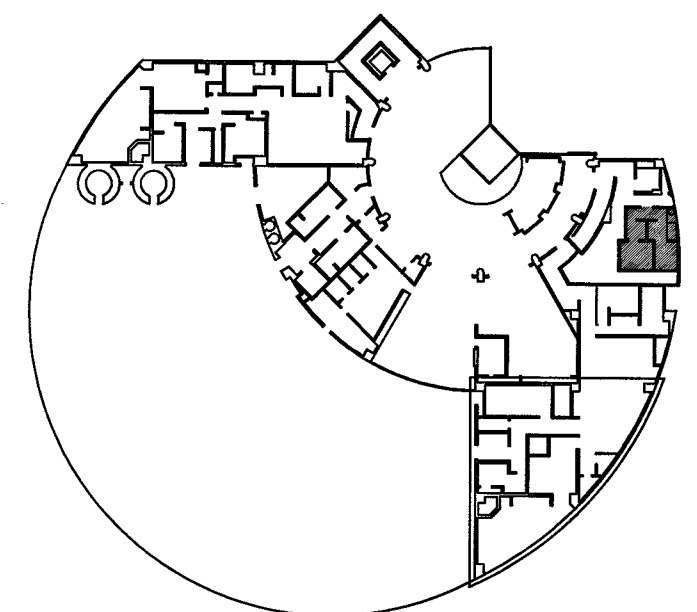
工事内容		
トイレ仕様		トイレブース既存使用
1. 1階	A 男子便所	ブース扉を外開きに変更
2. 1階	A 女子便所	ブース扉を外開きに変更
3. 1階	B 女子便所 01	ブース扉を外開きに変更
4. 1階	C2 女子便所 02	ブース扉を外開きに変更
5. 1階	D 男子便所 01	ブース扉を外開きに変更
6. 1階	E 男子便所 02	ブース扉を外開きに変更
7. 2階	F 女子便所	ブース扉を外開きに変更
8. 2階	G 男子便所	ブース扉を外開きに変更

- 凡例
- 仮設間仕切り
 - 天井点検口 450□【新設】(トイレ内は図面番号11~17による)
 - 工事関係者・施設入口
 - 工事対象トイレ
 - (入り口を示す)

既存 2階平面図 S=1:200

和便器を洋便器に変更	1階	A	男子便所	改修前	1ヶ所	保護コン+モルタル下地	100角タイル張り	モルタル下地 50角タイル張り	LGS19型	ケイカル板 t=6.0 目透かし EP塗り	2,600	トイレブース改修 【開勝手を外開き変更】	天井点検口 (450口) 新設: 30ヶ所	A					
			改修後	1ヶ所	保護コン+モルタル下地	100角タイル張り	モルタル下地 50角タイル張り	同上	同上	同上	同上	同上	トイレブース 内開き2ヶ所 (既存のまま) 外開き2ヶ所		2ヶ所				
			女子便所	改修前	1ヶ所	保護コン+モルタル下地	100角タイル張り	モルタル下地 50角タイル張り	LGS19型	ケイカル板 t=6.0 目透かし EP塗り	2,600	トイレブース 内開き2ヶ所 (既存のまま) 外開き2ヶ所	2ヶ所						
			改修後	1ヶ所	保護コン+モルタル下地	100角タイル張り	モルタル下地 50角タイル張り	同上	同上	同上	同上	同上	トイレブース 内開き2ヶ所 (既存のまま) 外開き2ヶ所		2ヶ所				
		B	女子便所01	改修前	2ヶ所	保護コン+モルタル下地	100角タイル張り	モルタル下地 50角タイル張り	LGS19型	ケイカル板 t=6.0 目透かし EP塗り	2,500	トイレブース 内開き3ヶ所 (既存のまま) 外開き3ヶ所	2ヶ所	B					
			改修後	2ヶ所	保護コン+モルタル下地	100角タイル張り	モルタル下地 50角タイル張り	同上	同上	同上	同上	同上	トイレブース 内開き3ヶ所 (既存のまま) 外開き3ヶ所		2ヶ所				
									LGS19型	化粧石膏ボード9.5			倉庫04 1ヶ所						
									LGS19型	ロックウール t=9.0+石膏ボード t=9.5			更衣室 1ヶ所 休憩コーナー 1ヶ所						
		C	女子便所02	改修前	1ヶ所	保護コン+モルタル下地	50角タイル張り	モルタル下地 50角タイル張り	LGS19型	ケイカル板 t=6.0 目透かし EP塗り	2,500	トイレブース 内開き1ヶ所 (既存のまま) 外開き1ヶ所	C2 3ヶ所	C					
			改修後	1ヶ所	保護コン+モルタル下地	50角タイル張り	モルタル下地 50角タイル張り	同上	同上	同上	同上	同上	女子脱衣室便所 C1 1ヶ所						
		D	男子便所01	改修前	1ヶ所	保護コン+モルタル下地	100角タイル張り	モルタル下地 50角タイル張り	LGS19型	ケイカル板 t=6.0 目透かし EP塗り	2,500	トイレブース 内開き1ヶ所 (既存のまま) 外開き1ヶ所	既存 2ヶ所 3ヶ所	D					
			改修後	1ヶ所	保護コン+モルタル下地	100角タイル張り	モルタル下地 50角タイル張り	同上	同上	同上	同上	同上	化粧室 1ヶ所						
									LGS19型	ロックウール t=9.0+石膏ボード t=9.5									
									LGS19型	ケイカル板 t=6.0 目透かし EP塗り									
		E	男子便所02	改修前	1ヶ所	保護コン+モルタル下地	50角タイル張り	モルタル下地 50角タイル張り	LGS19型	ケイカル板 t=6.0 目透かし EP塗り	2,500	トイレブース 内開き1ヶ所 (既存のまま) 外開き1ヶ所	4ヶ所	E					
改修後	1ヶ所		保護コン+モルタル下地	50角タイル張り	モルタル下地 50角タイル張り	同上	同上	同上	同上	同上									
和便器を洋便器に変更	2階	F	女子便所	改修前	1ヶ所	モルタル下地	100角タイル張り	モルタル下地 50角タイル張り	LGS19型	ケイカル板 t=6.0 目透かし EP塗り	2,400	トイレブース 内開き3ヶ所 (既存のまま) 外開き3ヶ所	4ヶ所	F					
			改修後	1ヶ所	モルタル下地	100角タイル張り	モルタル下地 50角タイル張り	同上	同上	同上	同上	同上							
		G	男子便所	改修前	1ヶ所	モルタル下地	100角タイル張り	モルタル下地 50角タイル張り	LGS19型	ケイカル板 t=6.0 目透かし EP塗り	2,400	トイレブース 内開き2ヶ所 (既存のまま) 外開き2ヶ所	既存3ヶ所	G					
			改修後	1ヶ所	モルタル下地	100角タイル張り	モルタル下地 50角タイル張り	同上	同上	同上	同上	同上							
		温水洗浄便座に変更	1階	H1	多目的便所	改修前		保護コン+モルタル下地	ビニール床シート+C (ノンスリップ)	モルタル下地 50角タイル張り	LGS19型	ケイカル板 t=6.0 目透かし EP塗り	2,600			H1			
					改修後		保護コン+モルタル下地	同上	同上	同上	同上	同上	同上						
				H2-2	障害者更衣室01	改修前		保護コン+モルタル下地	ビニール床シート+B (ノンスリップ・床暖房)	モルタル下地 50角タイル張り	LGS19型	ロックウール t=9.0+石膏ボード t=9.5	2,500			H2-2			
					改修後		保護コン+モルタル下地	同上	同上	同上	同上	同上	同上		1ヶ所				
				H2-1	障害者更衣室02	改修前		保護コン+モルタル下地	ビニール床シート+B (ノンスリップ・床暖房)	モルタル下地 50角タイル張り	LGS19型	ロックウール t=9.0+石膏ボード t=9.5	2,500		廊下01B 1ヶ所	H2-1			
					改修後		保護コン+モルタル下地	同上	同上	同上	同上	同上	同上		1ヶ所				
				H3	多目的便所	改修前		保護コン+モルタル下地	50角タイル張り	モルタル下地 50角タイル張り	LGS19型	化粧石膏ボード9.5			倉庫03 1ヶ所	H3			
					改修後		保護コン+モルタル下地	同上	同上	同上	同上	同上	同上						
				H4	多目的便所	改修前		保護コン+モルタル下地	ビニール床シート+B (ノンスリップ・床暖房)	モルタル下地 50角タイル張り	LGS19型	ケイカル板 t=6.0 目透かし EP塗り	2,400			H4			
改修後					保護コン+モルタル下地	同上	同上	同上	同上	同上	同上		1ヶ所						
記事	月 日													合同会社 D I Y 設計工房 〒781-314 高知市春野町南ヶ丘9丁目3-15 TEL 088-841-3176 Fax 088-855-4196	事務所登録(知事)1234号 一級建築士登録 146019 土居 歳幸	作成年月日	工事名称 ヨネッツこうちトイレ改修工事	高知市都市建設部公共建築課 係 係長 課長補佐 課長	設計番号 図面番号 9
	月 日																		
	月 日																		

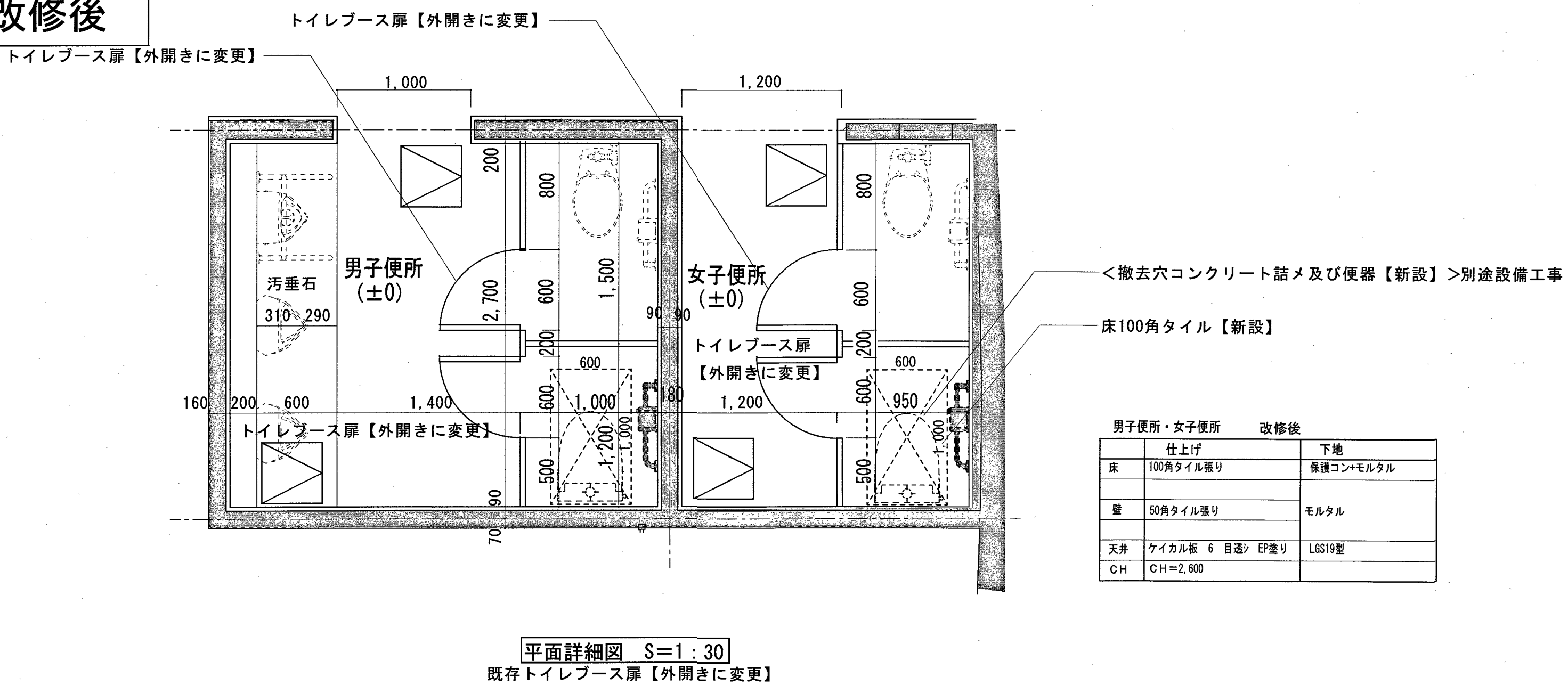
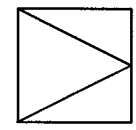
改修前



キープラン

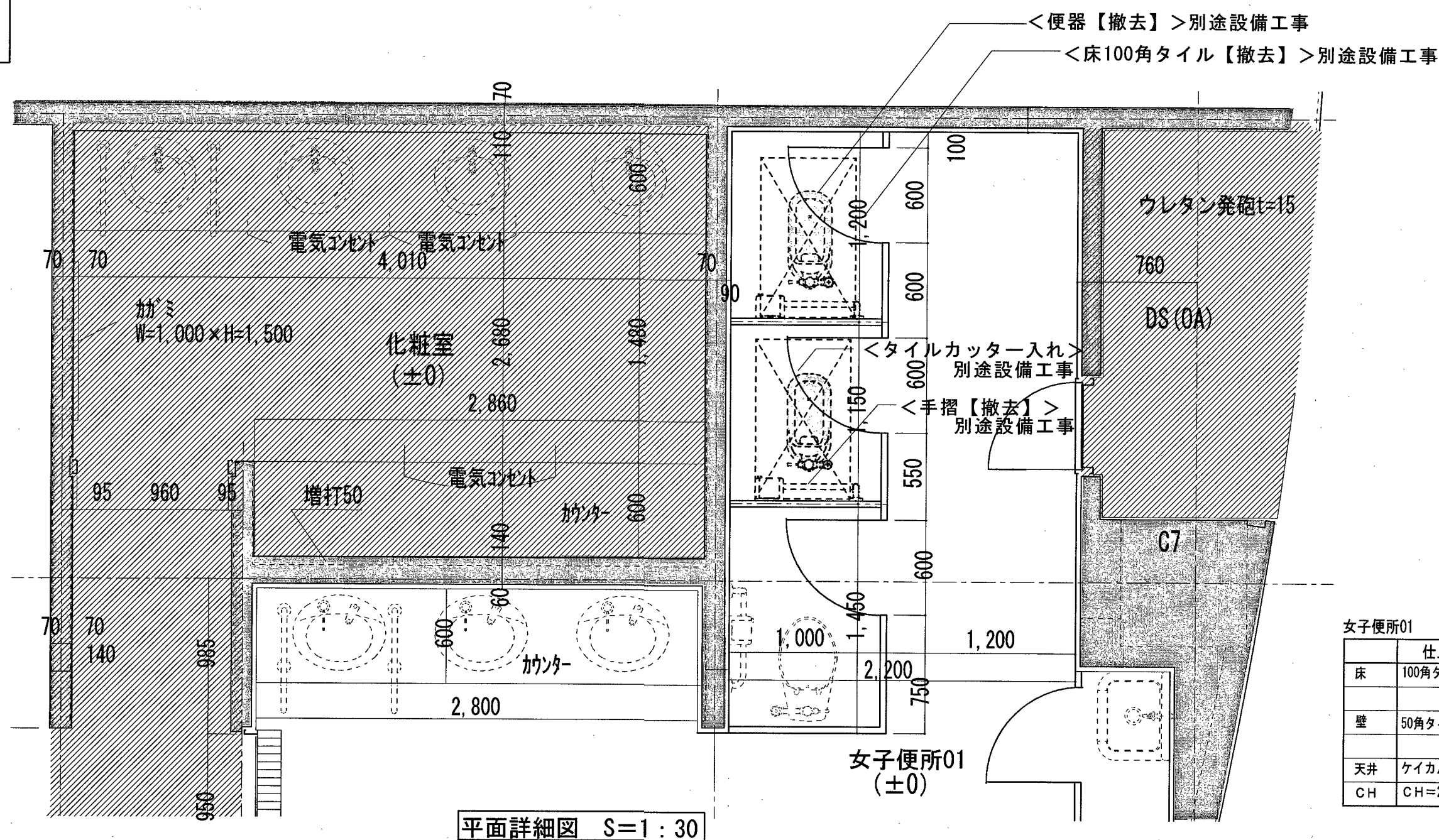
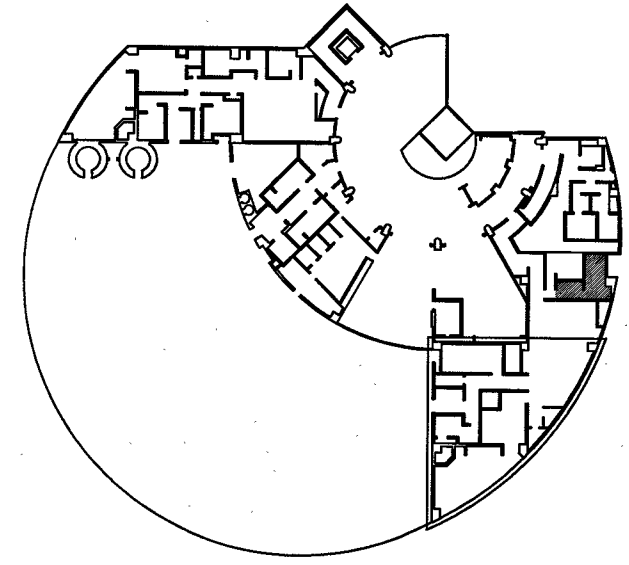
A

改修後



天井点検口 450□ 【新設】

改修前



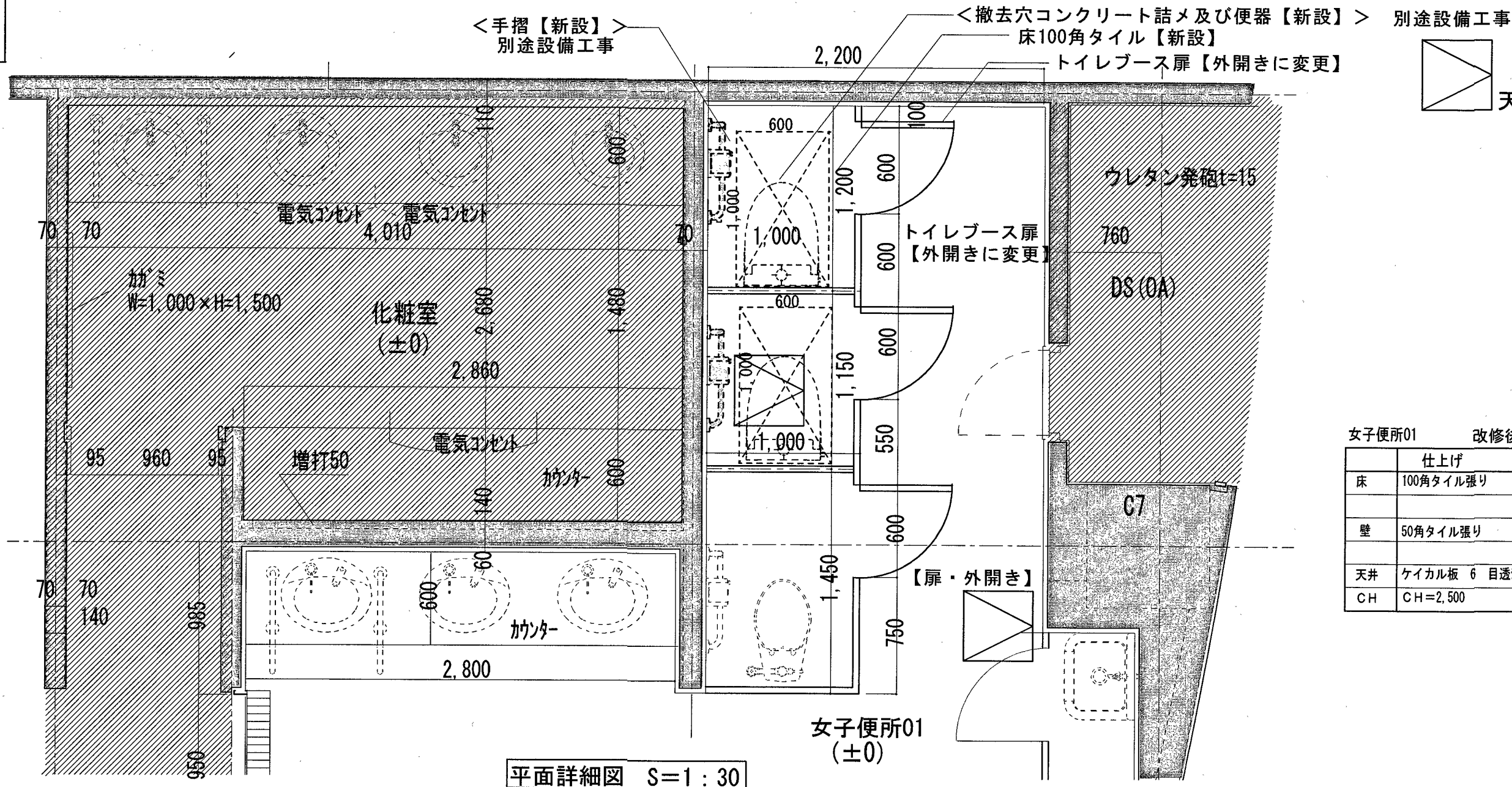
キープラン

B

女子便所01 改修前		
	仕上げ	下地
床	100角タイル張り	保護コン+モルタル
壁	50角タイル張り	モルタル
天井	ケイカル板 6 目透シ EP塗り	LGS19型
CH	CH=2,500	

平面詳細図 S=1:30

改修後



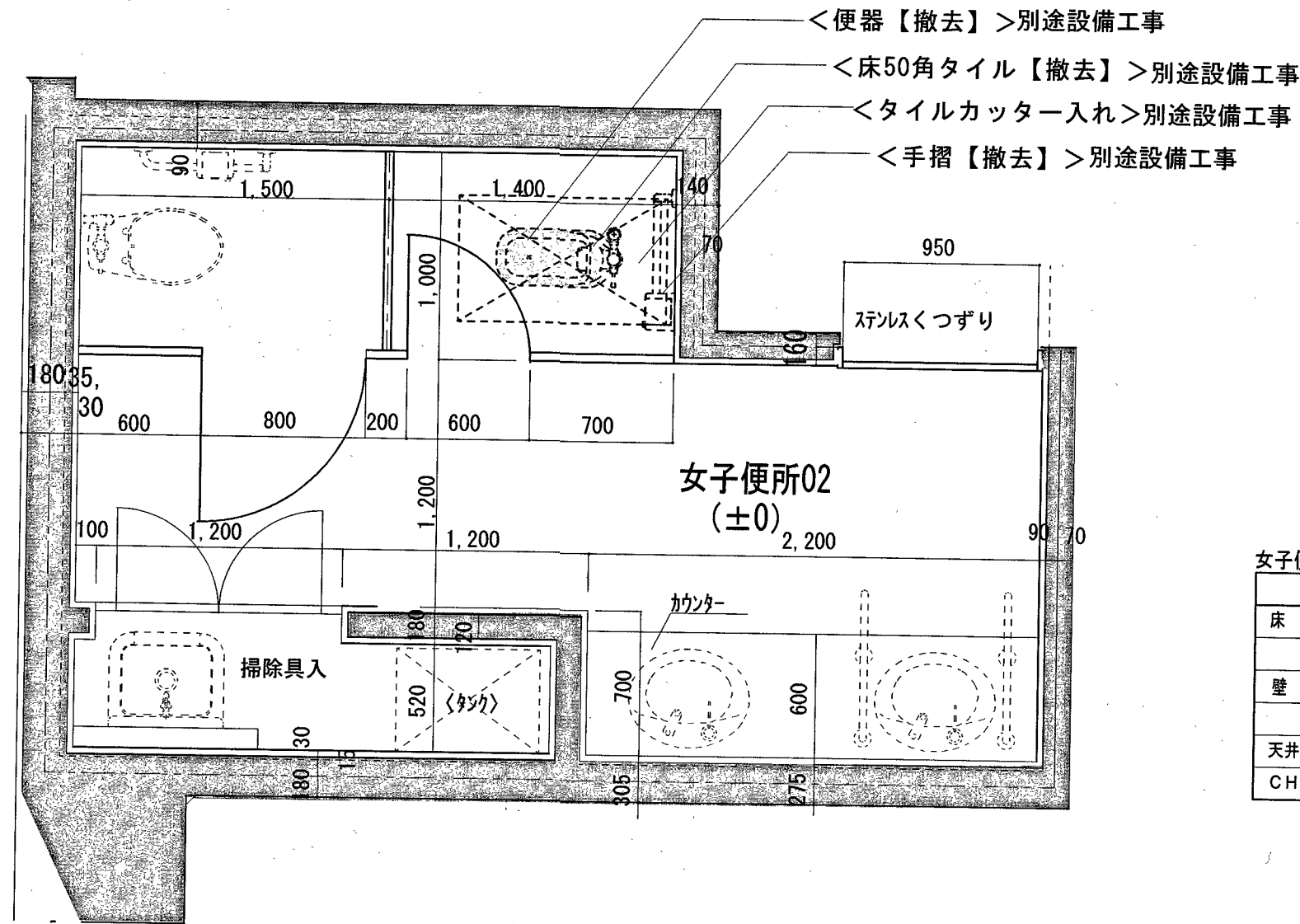
天井点検口 450□ 【新設】

女子便所01 改修後		
	仕上げ	下地
床	100角タイル張り	保護コン+モルタル
壁	50角タイル張り	モルタル
天井	ケイカル板 6 目透シ EP塗り	LGS19型
CH	CH=2,500	

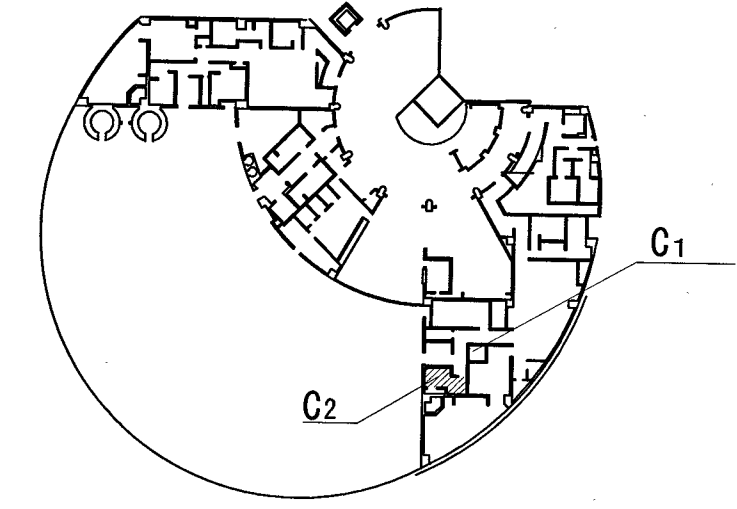
平面詳細図 S=1:30

既存トイレブース扉【外開きに変更】

改修前



女子便所02	改修前	
床	50角タイル張り	保護コン+モルタル
壁	50角タイル張り	モルタル
天井	ケイカル板 6 目透シ EP塗り	LGS19型
CH	CH=2,500	

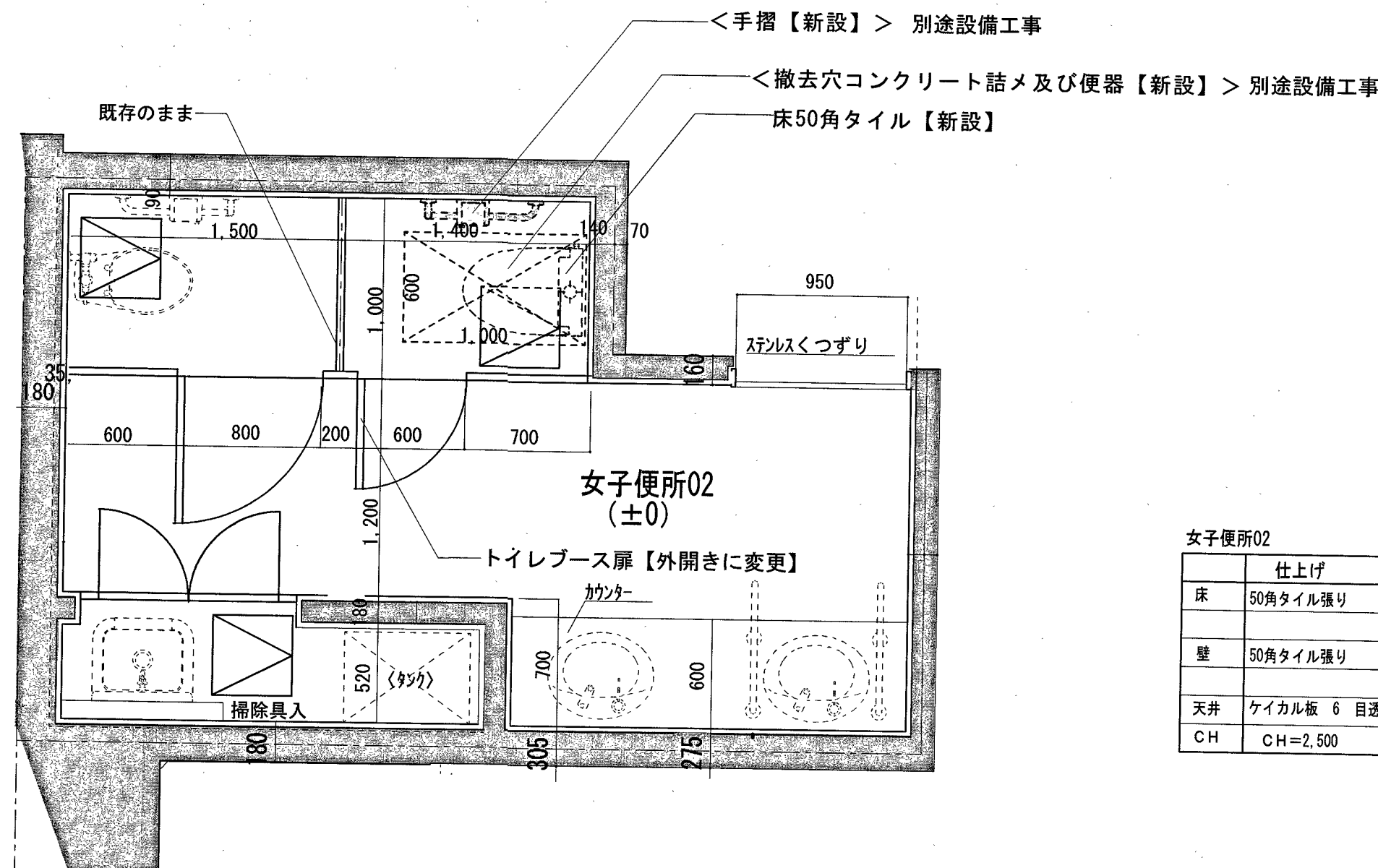


キープラン

C2

平面詳細図 S=1:30

改修後

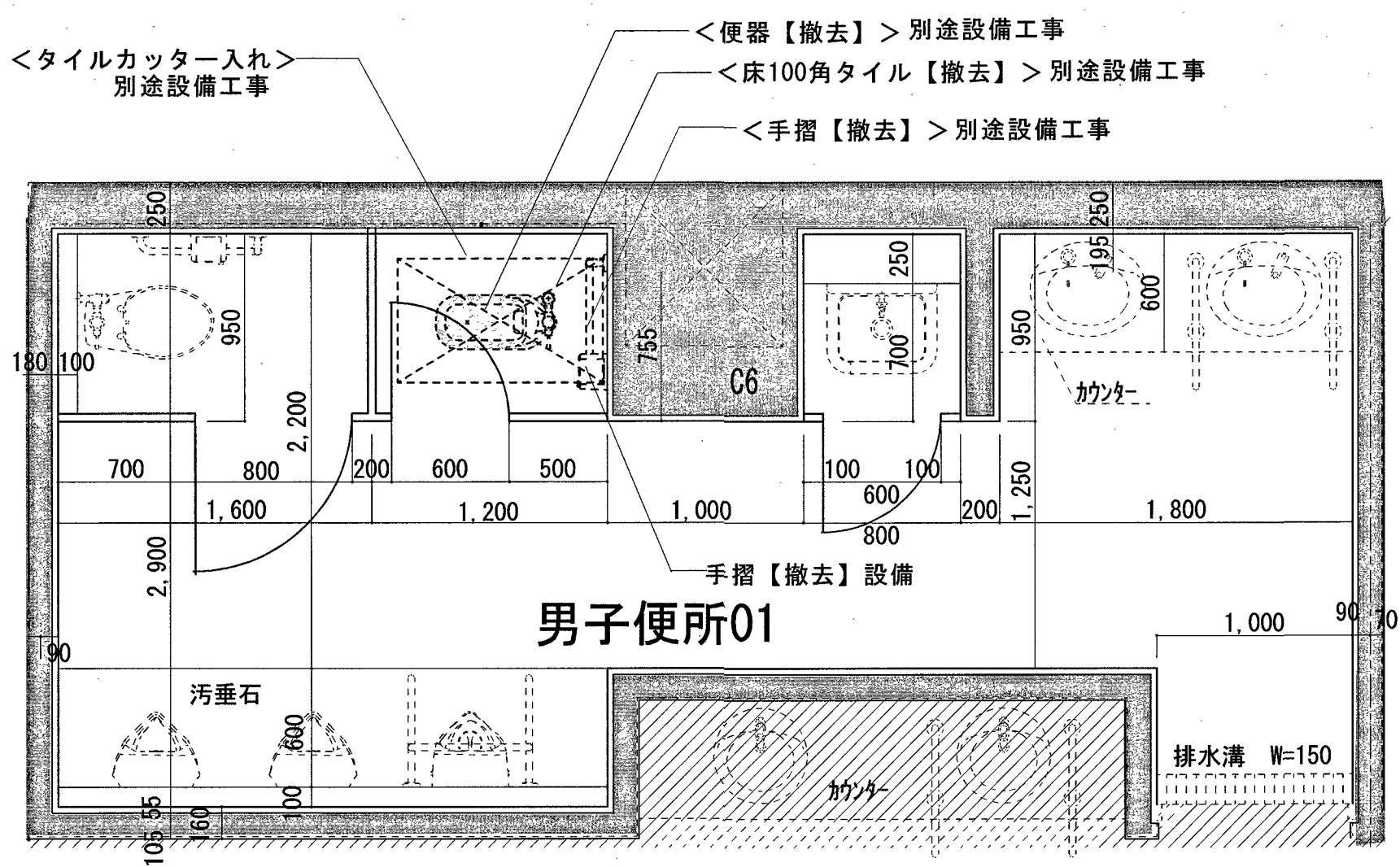


天井点検口 450□ 【新設】

女子便所02	改修後	
床	50角タイル張り	保護コン+モルタル
壁	50角タイル張り	モルタル
天井	ケイカル板 6 目透シ EP塗り	LGS19型
CH	CH=2,500	

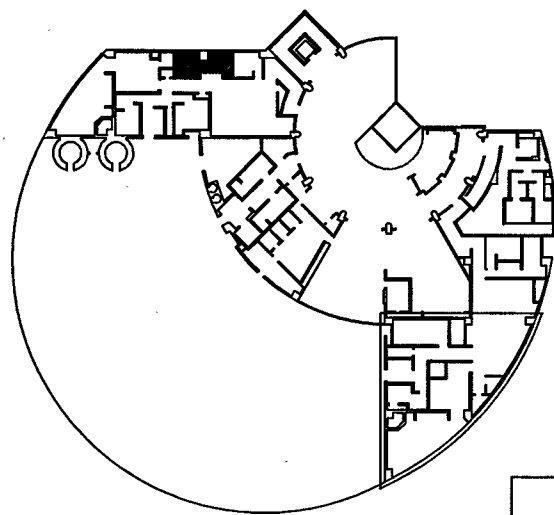
平面詳細図 S=1:30
既存トイレブース扉【外開きに変更】

改修前



平面詳細図 S=1:30

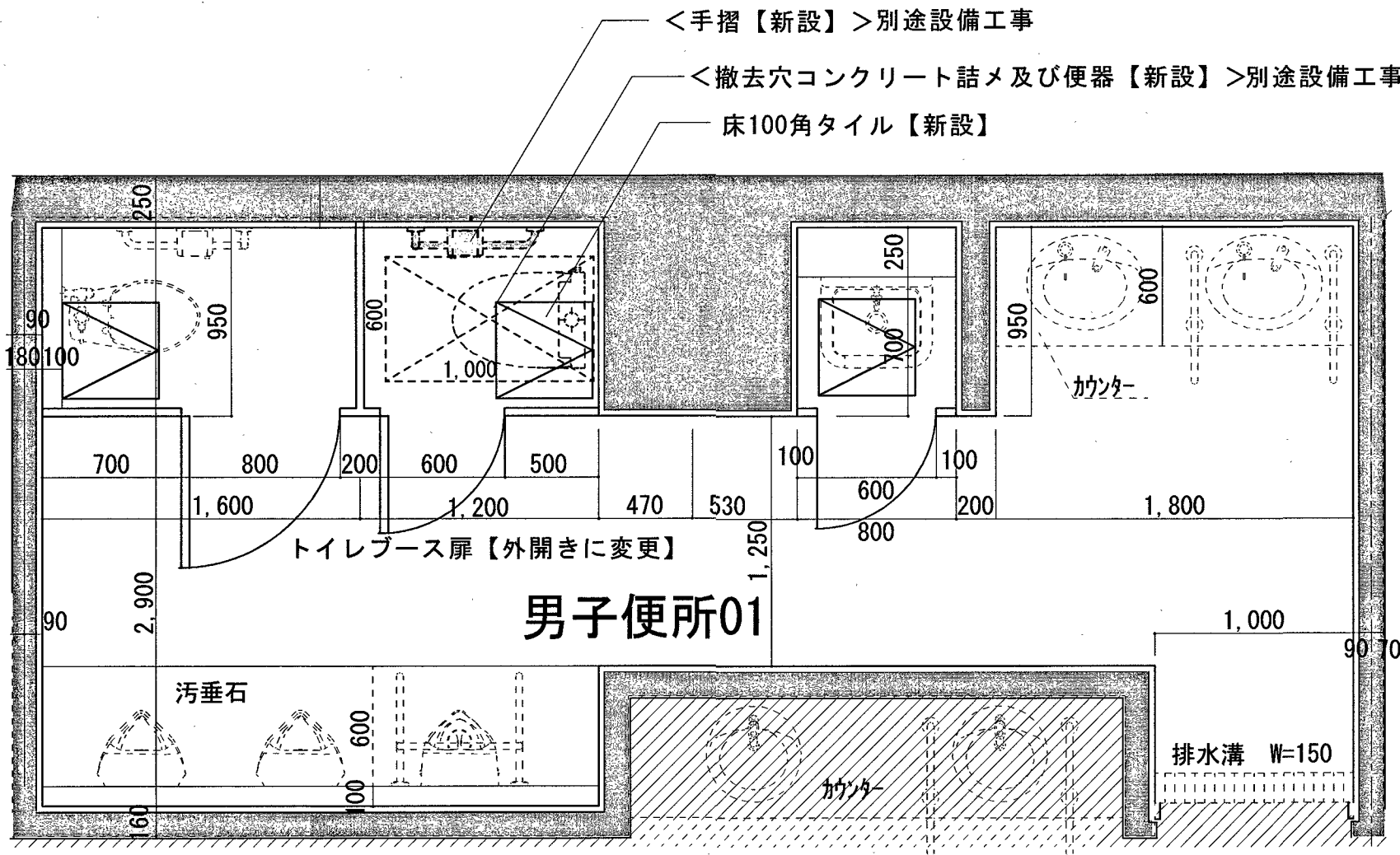
男子便所01 改修前		
	仕上げ	下地
床	100角タイル張り	保護コン+モルタル
壁	50角タイル張り	モルタル
天井	ケイカル板 6 目透シ EP塗り	LGS19型
CH	CH=2,500	



キープラン

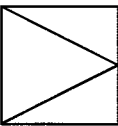
D

改修後



平面詳細図 S=1:30

既存トイレブース扉【外開きに変更】



天井点検口 450□ 【新設】

男子便所01 改修後		
	仕上げ	下地
床	100角タイル張り	保護コン+モルタル
壁	50角タイル張り	モルタル
天井	ケイカル板 6 目透シ EP塗り	LGS19型
CH	CH=2,500	

改修前

改修後

<手摺【撤去】>
別途設備工事

<床50角タイル【撤去】>
別途設備工事

<便器【撤去】>
別途設備工事

<タイルカッター入れ>
別途設備工事

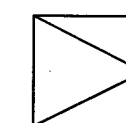
床50角タイル【新設】

<撤去穴コンクリート詰メ
及び便器【新設】> 別途設備工事

トイレブース扉【外開きに変更】

キープラン

E



天井点検口 450□ 【新設】

平面詳細図 S=1:30

男子便所02 改修前

	仕 上 げ	下 地
床	50角タイル張り	保護コン+モルタル
壁	50角タイル張り	モルタル
天井	ケイカル板 6 目透シ EP塗り	LGS19型
CH	CH=2,500	

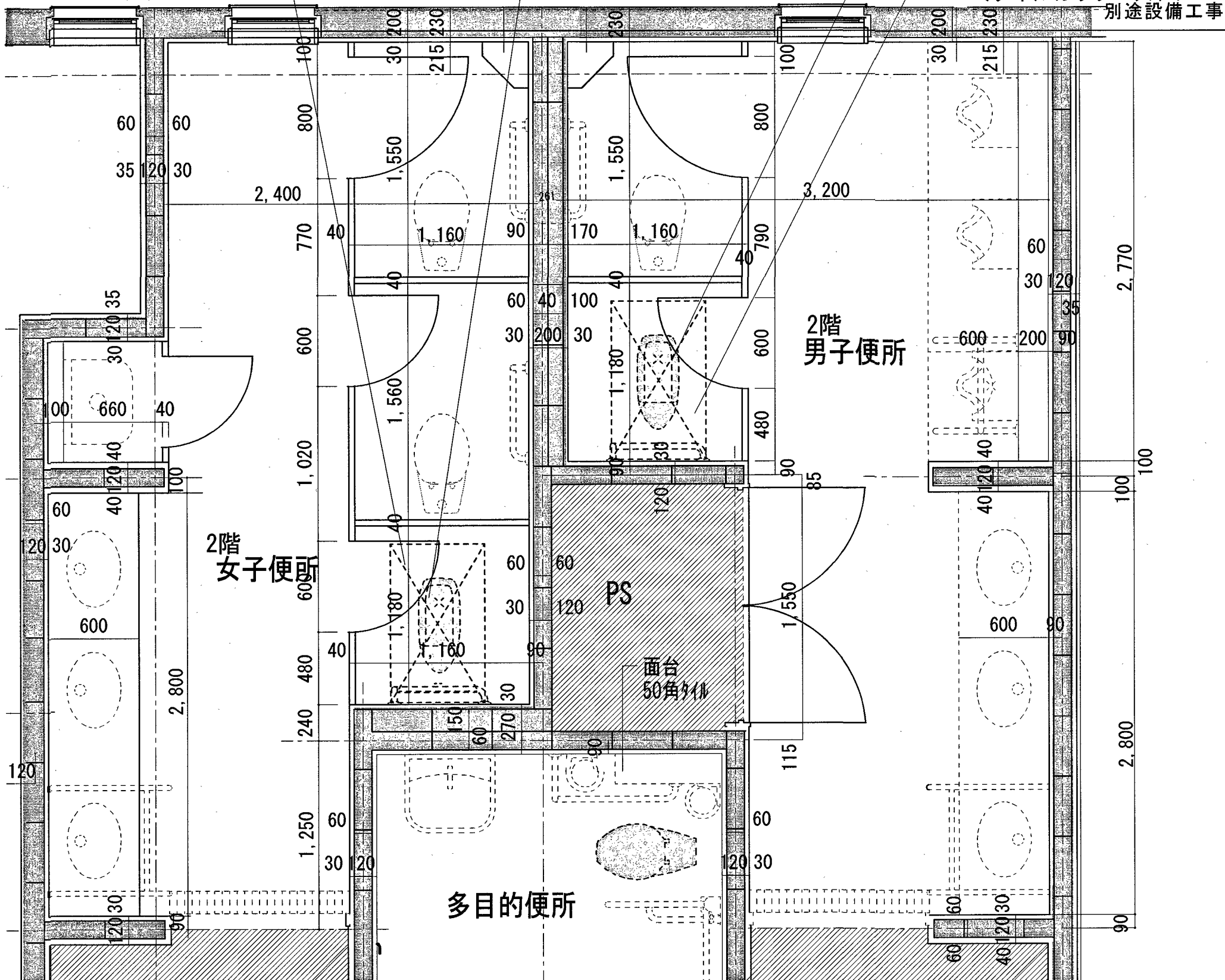
平面詳細図 S=1:30

既存トイレブース扉【外開きに変更】

男子便所02 改修後

	仕 上 げ	下 地
床	50角タイル張り	保護コン+モルタル
壁	50角タイル張り	モルタル
天井	ケイカル板 6 目透シ EP塗り	LGS19型
CH	CH=2,500	

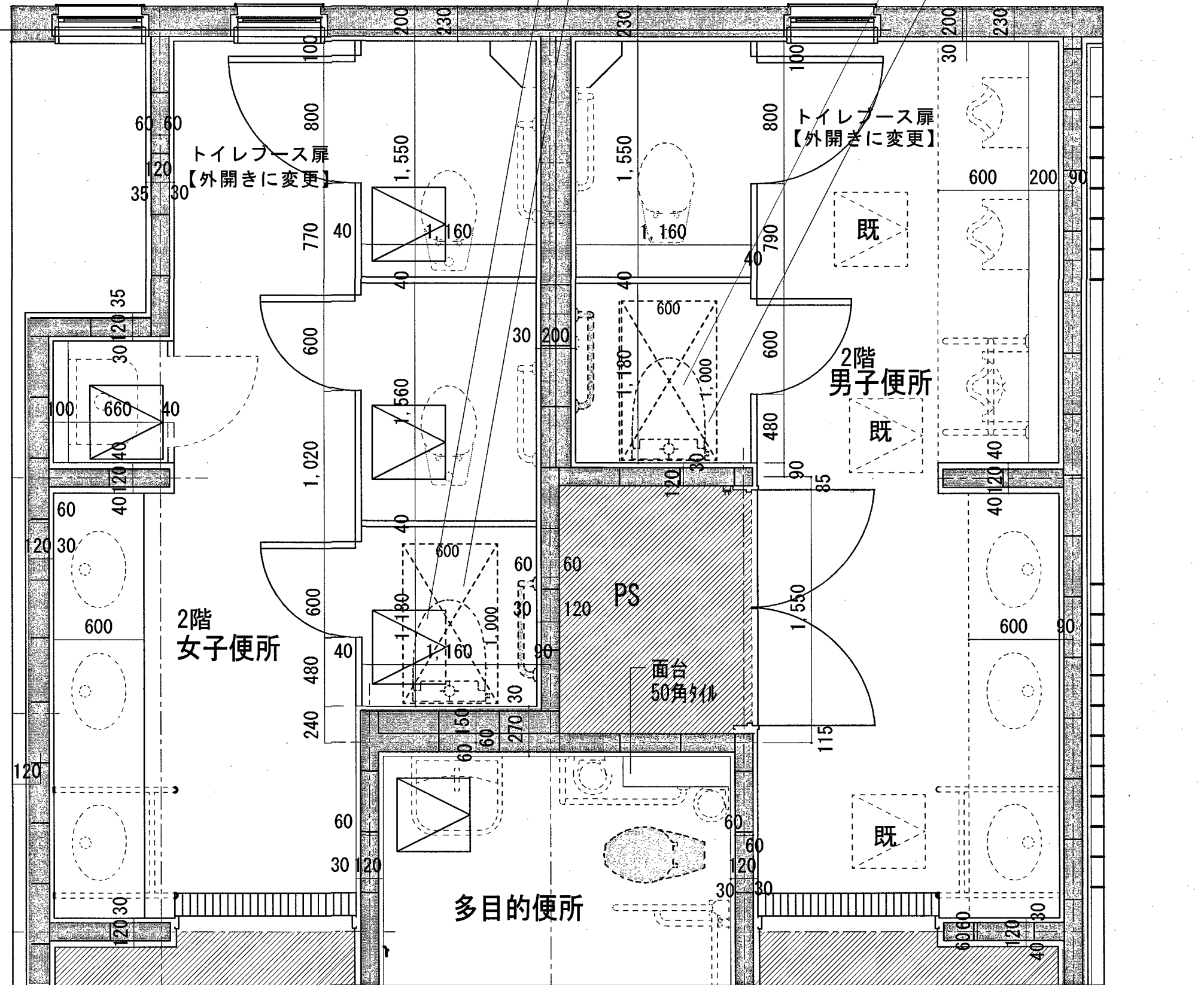
床100角タイル【撤去】>
<タイルカッター入れ>
別途設備工事



多目的便所

H₄

G



F

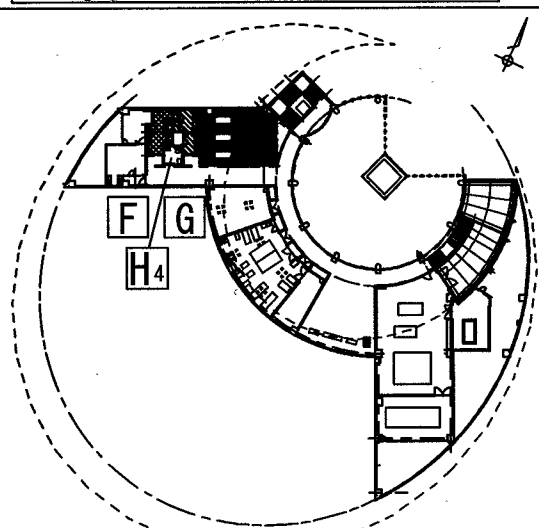
多目的便所

H₄

G

既存トイレブース扉【外開きに変更】

2階 平面図



キープラン

既存トイレブース扉【外開きに変更】

天井点検口 450□【新設】

多目的便所 改修前・後

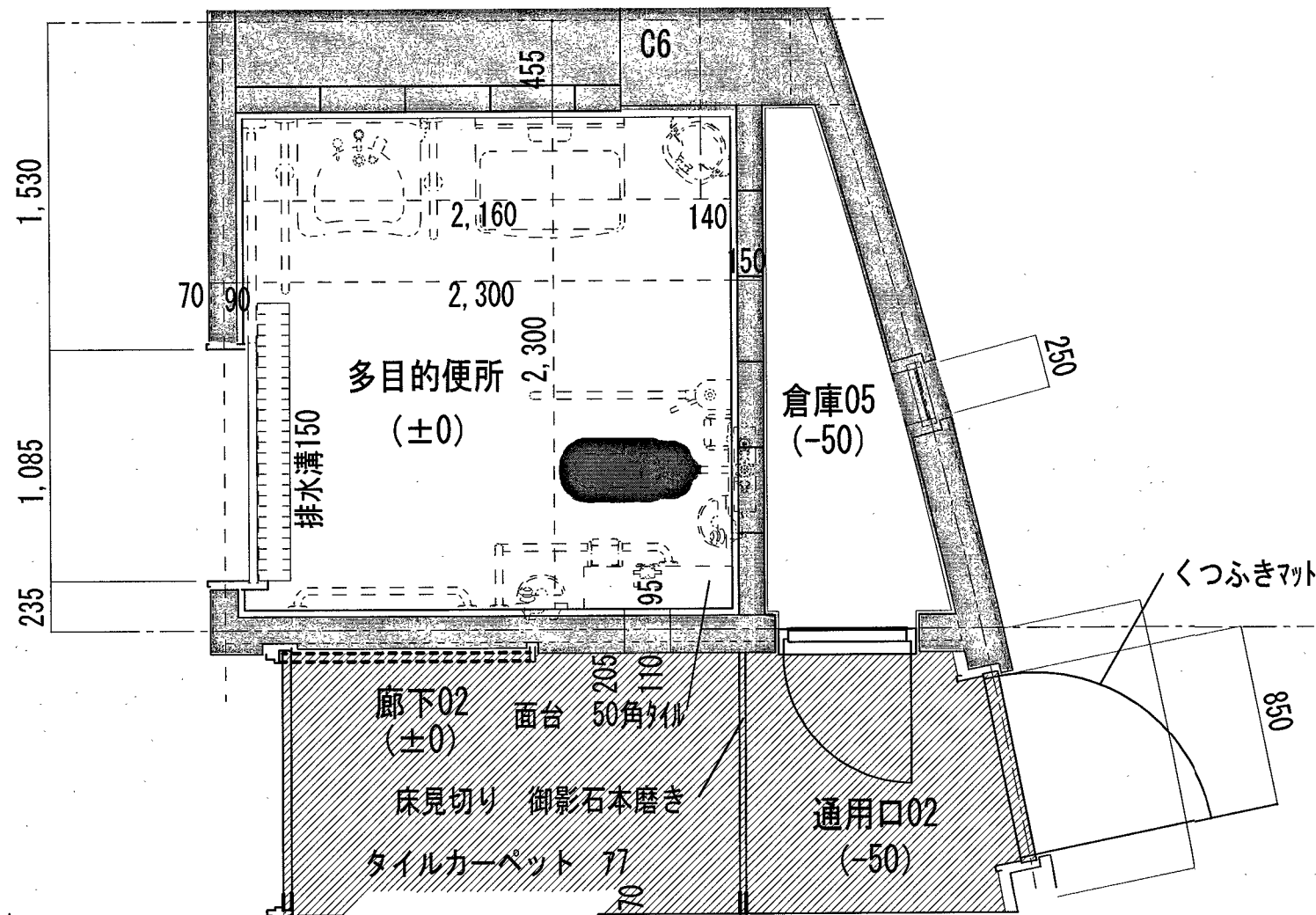
	仕上げ	下地
床	ビニール床シート・C	モルタル下地
壁	50角タイル張り	モルタル
天井	ケイカル板 6 目透シ EP塗り	LG619型
CH	CH=2, 400	

女子便所・男子便所 改修後

	仕上げ	下地
床	100角タイル張り	モルタル下地
壁	50角タイル張り	モルタル
天井	ケイカル板 6 目透シ EP塗り	LGS19型
CH	CH=2,400	

女子便所 男子便所		改修前
	仕上げ	下地
床	100角タイル張り	モルタル下地
壁	50角タイル張り	モルタル
天井	ケイカル板 6 目透シ EP塗り	LG519型
CH	CH=2, 400	

記事	月 日	合同会社 D I Y 設計工房 〒781-314 高知市春野町南ヶ丘9丁目3-15 Tel. 088-841-3176 Fax 088-855-4196 一級建築士登録 146019 土居 歳幸	事務所登録(知事)1234号	作成年月日	工事名称	高知市都市建設部公共建築課				設計番号
	月 日			縮尺 A2 : 100% S=1:30 A3 : 71%	図面名称	ヨネッツこうちトイレ改修工事				図面番号
	月 日					F . G . H4 配置トイレ改修平面詳細図				
						係	係長	課長補佐	課長	
										15

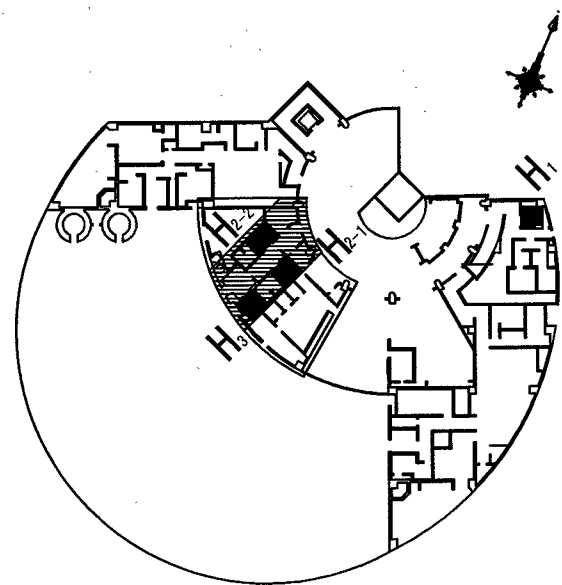


H₁

S=1:30

多目的便所		
	仕上げ	下地
床	ビニル床シート・C(ノンスリップ)	保護コン+モルタル
巾木		
腰壁		
壁	50角タイル張り	モルタル
天井	ケイカル板 6 目透シ EP塗り	LGS19型
CH	CH=2,500	

1階 平面図



キープラン

多目的便所		
	仕上げ	下地
床	50角タイル	保護コン+モルタル
巾木		
腰壁		
壁	50角タイル張り	モルタル
天井	ケイカル板 6 目透シ EP塗り	LGS19型
CH	CH=2,500	

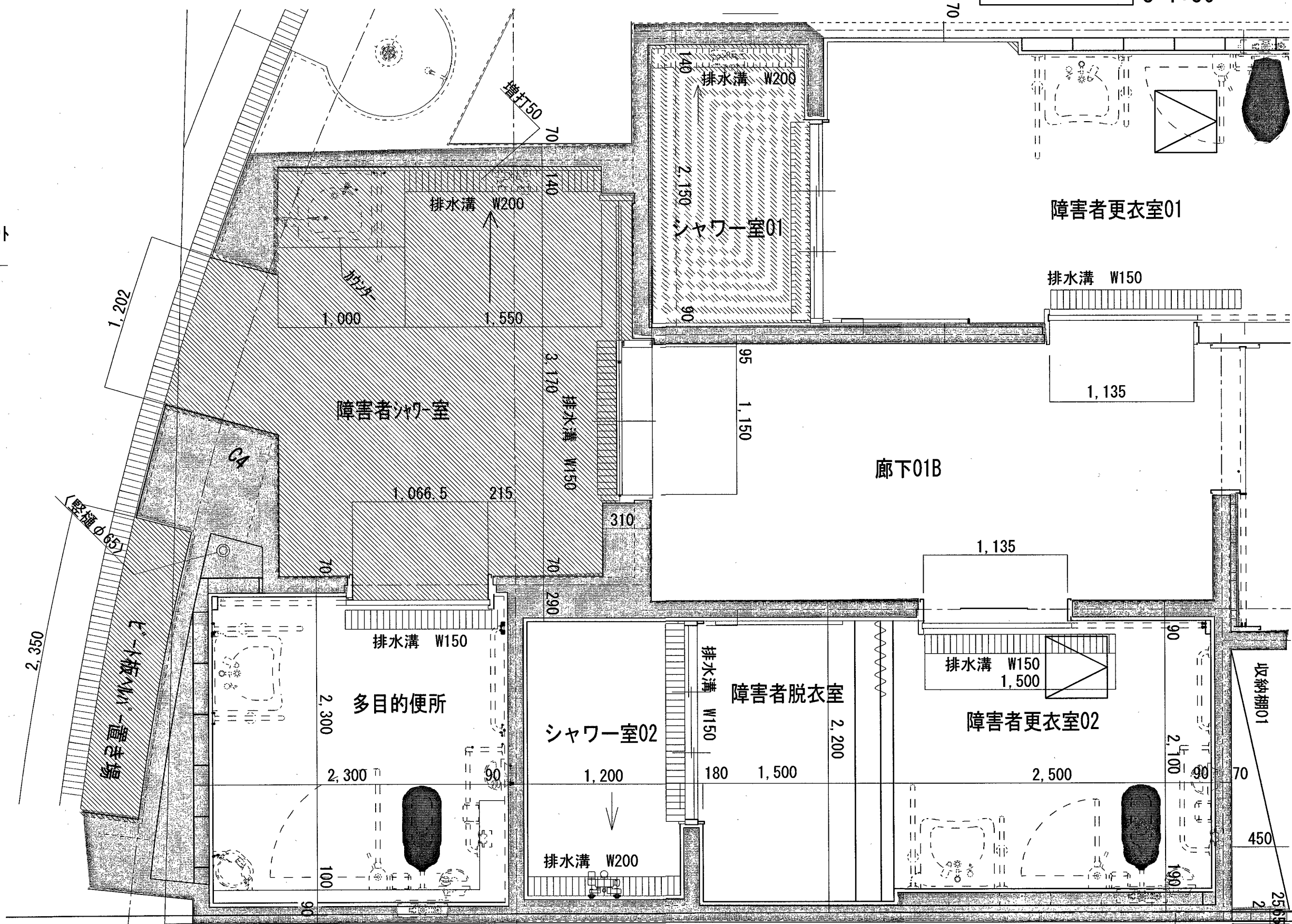
H₃

S=1:30

障害者更衣室01, 02		
	仕上げ	下地
床	ビニル床シート・B(ノンスリップ・床暖房)	保護コン+モルタル
巾木		
腰壁		CBt=100+モルタル
壁	50角タイル張り	モルタル
天井	ロックウール吸音板 t=9.0	LGS19型 PB9.5
CH	CH=2,500	

H₂₋₂

S=1:30



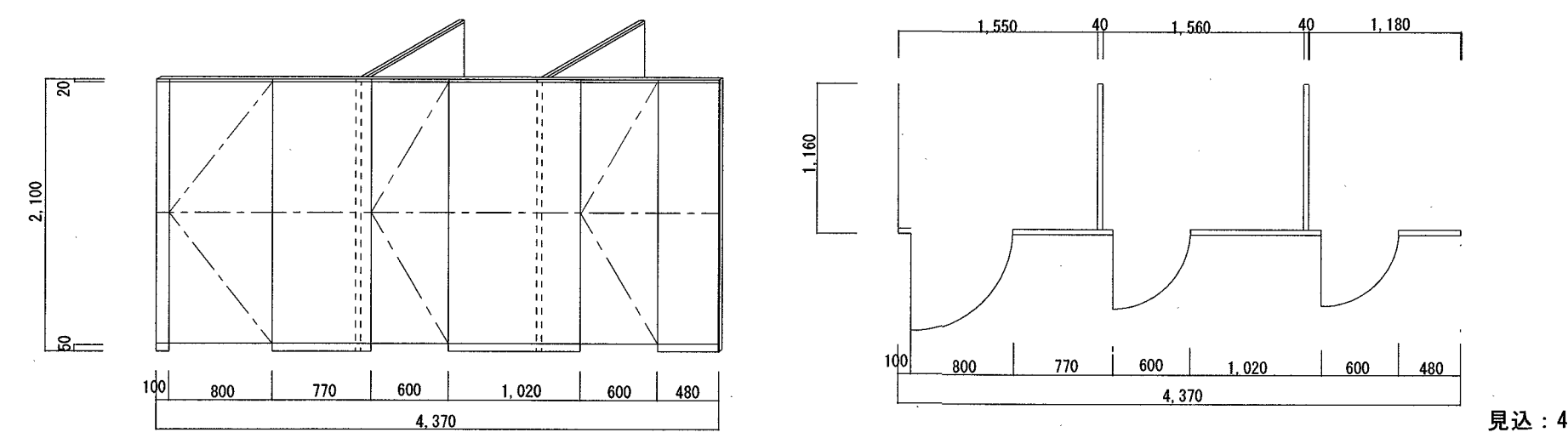
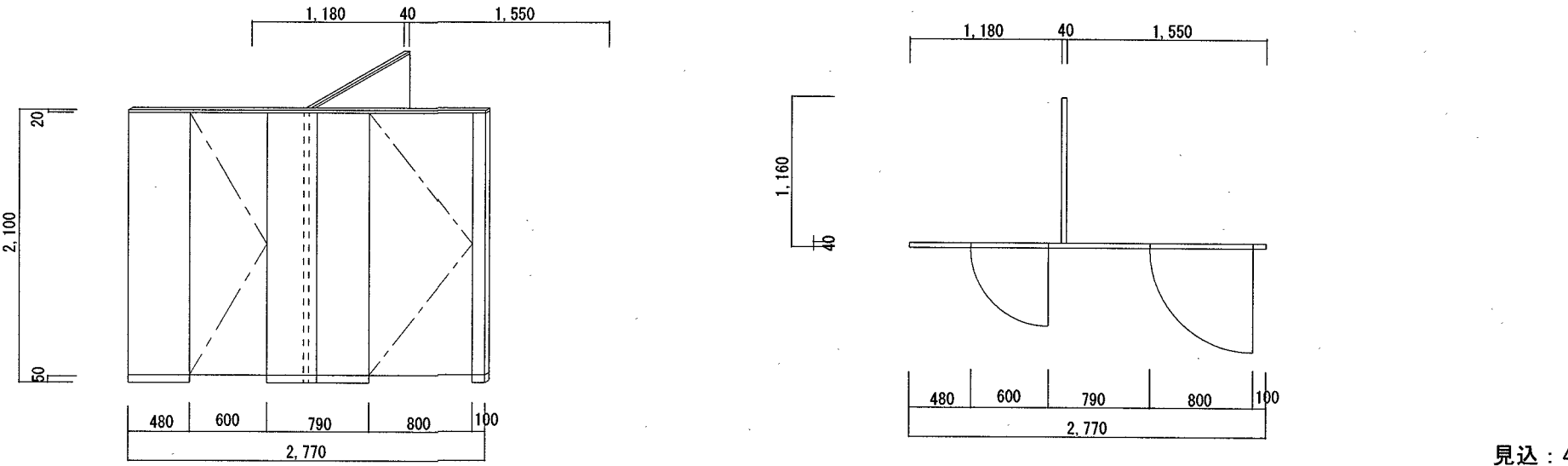
障害者更衣室02		
	仕上げ	下地
床	ビニル床シート・B(ノンスリップ・床暖房)	保護コン+モルタル
巾木		
腰壁		CBt=100+モルタル
壁	50角タイル張り	モルタル
天井	ロックウール吸音板 t=9.0	LGS19型 PB9.5
CH	CH=2,500	

天井点検口 450□ 【新設】

H₂₋₁

S=1:30

番号		A 改修後1階（男子便所） 扉・内開きを外開きとする。		A 改修後1階（女子便所） 扉・内開きを外開きとする。	
形状・寸法					
	見込：40		見込：40		
	型式 トイレブース（既存を利用）→以下同じ		トイレブース（既存を利用）→以下同じ		
	金物 SUS笠木・SUS脚金物・グラビティーヒンジ・表示付スライド鍵・戸当り・付属金物一式		SUS笠木・SUS脚金物・グラビティーヒンジ・表示付スライド鍵・戸当り・付属金物一式		
	材質 高圧メラミン樹脂化粧板（標準単色又は標準柄物）		高圧メラミン樹脂化粧板（標準単色又は標準柄物）		
ガラス					
ヶ処数		1		1	
備考					
番号		B 改修後1階（女子便所01） 扉・内開きを外開きとする。		C 改修後1階（女子便所02） 扉・内開きを外開きとする。	
形状・寸法					
	見込：40		見込：40		
	型式 トイレブース（既存を利用）→以下同じ		トイレブース（既存を利用）→以下同じ		
	金物 SUS笠木・SUS脚金物・グラビティーヒンジ・表示付スライド鍵・戸当り・付属金物一式		SUS笠木・SUS脚金物・グラビティーヒンジ・表示付スライド鍵・戸当り・付属金物一式		
	材質 高圧メラミン樹脂化粧板（標準単色又は標準柄物）		高圧メラミン樹脂化粧板（標準単色又は標準柄物）		
ガラス					
ヶ処数		1		1	
備考					
番号		D 改修後1階（男子便所01） 扉・内開きを外開きとする。		E 改修後1階（男子便所02） 扉・内開きを外開きとする。	
形状・寸法					
	見込：40		見込：40		
	型式 トイレブース（既存を利用）→以下同じ		トイレブース（既存を利用）→以下同じ		
	金物 SUS笠木・SUS脚金物・グラビティーヒンジ・表示付スライド鍵・戸当り・付属金物一式		SUS笠木・SUS脚金物・グラビティーヒンジ・表示付スライド鍵・戸当り・付属金物一式		
	材質 高圧メラミン樹脂化粧板（標準単色又は標準柄物）		高圧メラミン樹脂化粧板（標準単色又は標準柄物）		
ガラス					
ヶ処数		1		1	
備考					
記事	月 日	合同会社 D I Y 設計工房 〒781-314 高知市春野町南ヶ丘9丁目3-15 Tel. 088-841-3176 Fax 088-855-4196		作成年月日	工事名称
	月 日			縮尺 A2：100% A3：71%	ヨネッツこうちトイレ改修工事
	月 日			図面名称	改修後・建具表（トイレブース）1
	月 日			高知市都市建設部公共建築課 係 係長 課長補佐 課長	

番号	F	改修後 2階（女子便所）扉・内開きを外開きとする。	G	改修後 2階（男子便所）扉・内開きを外開きとする。
形状・寸法				
型式	トイレブース（既存を利用）→以下同じ		トイレブース（既存を利用）→以下同じ	
金物	SUS笠木・SUS脚金物・グラビティーヒンジ・表示付スライド鍵・戸当り・付属金物一式		SUS笠木・SUS脚金物・グラビティーヒンジ・表示付スライド鍵・戸当り・付属金物一式	
材質	高圧メラミン樹脂化粧板（標準単色又は標準柄物）		高圧メラミン樹脂化粧板（標準単色又は標準柄物）	
ガラス				
ヶ処数	1		1	
備考				
番号				
形状・寸法				
型式				
金物				
材質				
ガラス				
ヶ処数				
備考				
番号				
形状・寸法				
型式				
金物				
材質				
ガラス				
ヶ処数				
備考				